

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 入学定員の設定の考え方と学生確保の見通し	2
(1) 入学定員設定の考え方	2
(2) 学生確保の見通しのアンケートの調査結果	4
(3) 留学生の入学者の状況	19
(4) 既設組織の入学定員充足の状況	22
(5) 医歯保健学研究科の入学定員の充足の見通し	22
2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	24
3. 社会的要請や人材需要の動向	27
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	27
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠	28

1. 入学定員の設定の考え方と学生確保の見通し

(1) 入学定員設定の考え方

医歯保健学研究科は、医歯保健学系における大学院教育を「専門知識修得偏重」から、顕在化する「複合的課題」を解決できる「総合知を創生する場で活躍できる人材育成」の場へと転換する。そのため、医歯学総合研究科と保健学研究科を統合し、新たに医歯保健学研究科を設置する。これに伴い、区分制の博士前期課程と博士後期課程にはそれぞれ健康科学専攻を設け、4年制博士課程には医歯学専攻を配置する。入学定員及び収容定員は、以下のとおり設定する。

研究科	課程	専攻	入学定員	収容定員
医歯保健学研究科	博士前期課程	健康科学専攻	40人	80人
	博士後期課程	健康科学専攻	10人	30人
	博士課程	医歯学専攻	101人	404人
合計			151人	514人

健康科学専攻（博士前期課程）の入学定員は、医歯学総合研究科博士前期課程、修士課程及び保健学研究科博士前期課程をあわせた入学定員46人から、令和8年度設置予定の総合学術研究科（仮称）自然科学専攻（修士課程）へ5人移行、健康科学専攻（博士後期課程）へ1人移行に伴い、40人とする。

健康科学専攻（博士後期課程）の入学定員は、医歯学総合研究科博士後期課程及び保健学研究科博士後期課程をあわせた入学定員9人と、医歯学総合研究科博士前期課程（修士課程）からの1人移行をあわせた10人とする。

医歯学専攻（博士課程）の入学定員は、現行の医歯学総合研究科博士課程の入学定員と同数の101人とする。

本研究科では、博士前期課程、博士後期課程及び博士課程いずれも、定員管理は専攻単位で実施する。前述のように、本研究科における入学者選抜では、各学位プログラムに「目安定員」を設定して実施する。各学位プログラムの目安定員は表1のとおりである。各学位プログラムにおいて目安定員を超える志願者があった場合には、目安定員を超える一定数までの合格者は各プログラムの裁量で判定し、一定数を越える分の合格者は専攻定員を踏まえて専攻及び研究科全体で調整して決定する。合格者は研究科教授会から審議事項を委任された各系別の教授会で審議・決定する。なお、第二次募集は「若干人」としての実施を予定している。また、各学位プログラムに設定する「目安定員」は、その充足状況も勘案し、完成年度に評価を行い、その後も定期的な見直しを行う。

表1 各専攻、学位プログラムの目安定員

健康科学専攻（博士前期課程）	目安定員
メディカルサイエンスプログラム	14人
口腔保健福祉学プログラム	6人
看護学プログラム	10人
次世代医療技術科学プログラム	10人

健康科学専攻（博士後期課程）	目安定員
口腔保健福祉学プログラム	3人
看護学プログラム	3人
次世代医療技術科学プログラム	4人

医歯学専攻（博士課程）	目安定員
医学プログラム	73人
グローバル医療研究コース	(7~8人)
精密医学研究コース	(47~48人)
脳とこころの医学研究コース	(18~19人)
歯学プログラム	28人

(2) 学生確保の見通しのアンケートの調査結果

ア 健康科学専攻（博士前期課程）に関するアンケート

(ア) 学部生3年生に対するアンケート

上記(1)で設定する入学定員が充足できる見通しについて調査するため、本学に在籍する学部1年次生～4年次生（新研究科への進学が想定される学部：人文学部、教育学部、法学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部、創生学部、医学部、歯学部を対象）にアンケート調査を実施した。

ただし、学部1～4年次生のアンケート調査は参考程度とし、以下の調査結果の分析は、医歯保健学研究科を設置する令和8年4月入学予定の3年次生の回答にもとづいて実施している。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：461人（対象 2,265人）、回収率 20.4%

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・属性（学年、性別、所属する学位プログラム）
- ・卒業後の進路
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・進学する大学院の設置主体
- ・興味のある学問系統
- ・新研究科への入学希望
- ・新研究科への合格した場合の入学希望
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・学位プログラムを選択した理由
- ・博士後期課程への進学意向

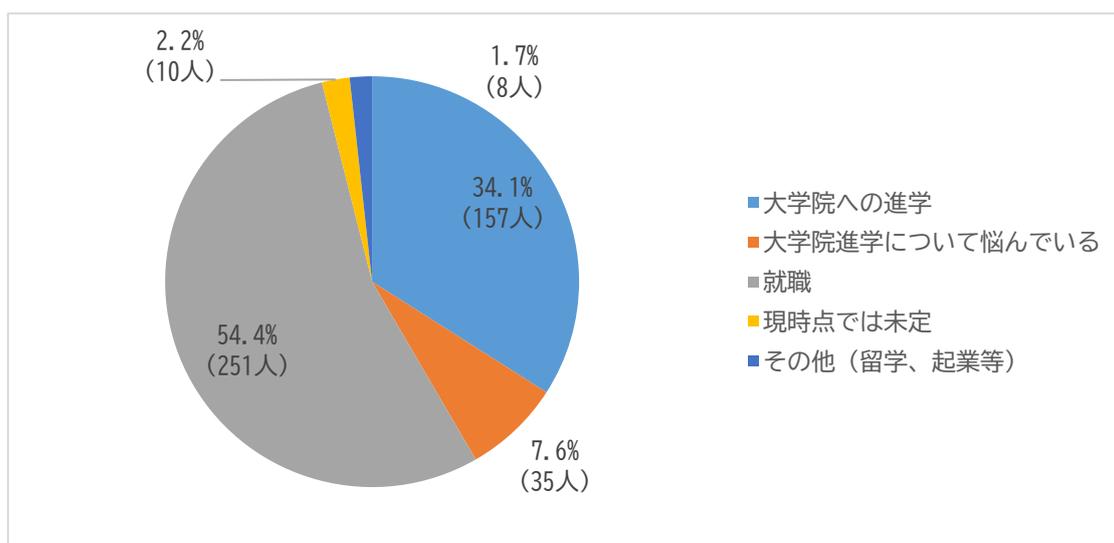
c 調査結果（調査結果の詳細は【資料2】）

(a) 卒業後の進路

現時点で卒業後の進路について問う質問の結果は図1のとおりである。

「大学院への進学」との回答が157人、「大学院への進学について悩んでいる」との回答が35人と、合計で192人が大学院への進学を意識していることを示している。

図1 大学院への進学希望



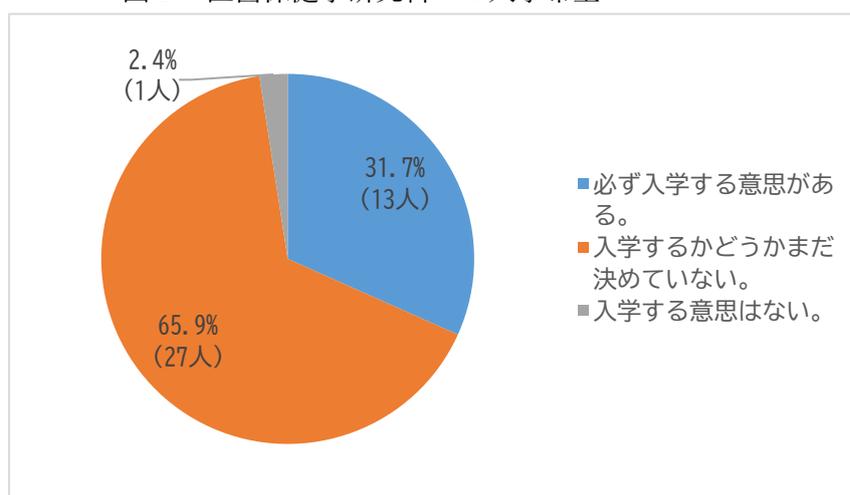
(b) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科を受験して、合格した場合、入学するかを問う質問の結果は図2のとおりである。

「必ず入学する意思がある」との回答した学生は13人であった。

本研究科が第1志望ではない学生もいるものの、「入学するかどうか決めていない」と回答した学生が27人いたことから、本研究科を第1希望として、入学に結び付く学生がそれなりにいると考えられる。

図2 医歯保健学研究科への入学希望



(c) 入学を希望する学位プログラムについて

医歯保健学研究科への入学希望を示した学生に対して、入学を希望する学位プログラムについて問う質問の結果は表2のとおりである。

なお、在学生以外の入学見込み数も勘案した、定員充足の見込みについては、(6)において説明する。

表2 入学を希望する学位プログラム（学部3年次生）

	学位プログラム	人数	目安定員
1	メディカルサイエンスプログラム	10	14
2	口腔保健福祉学プログラム	1	6
3	看護学プログラム	1	10
4	次世代医療技術科学プログラム	19	10
	計	31	40

(イ) 社会人向けアンケート

社会人の学びの場の拡大が必要とされる中、高等教育機関は、社会のニーズに沿う教育プログラムの充実、リスキリング教育の環境整備が求められている。

現役社会人等の、新設する「医歯保健学研究科」への入学希望、入学後に活用を希望する制度について、調査するためアンケートを実施した。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：64人

- ・現に職を有している又は勤務経験のある者のうち、大学院での学び直しに関心のある者
- ・医学部保健学科卒業生、歯学部口腔生命福祉学科卒業生、本学及び新潟大学医歯学総合病院に勤務する社会人を対象に実施

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・新研究科への入学希望度
- ・新研究科への入学希望時期
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・選択した学位プログラムの理由
- ・博士後期課程への進学意向
- ・活用を希望する制度

c 調査結果（調査結果の詳細は【資料3】）

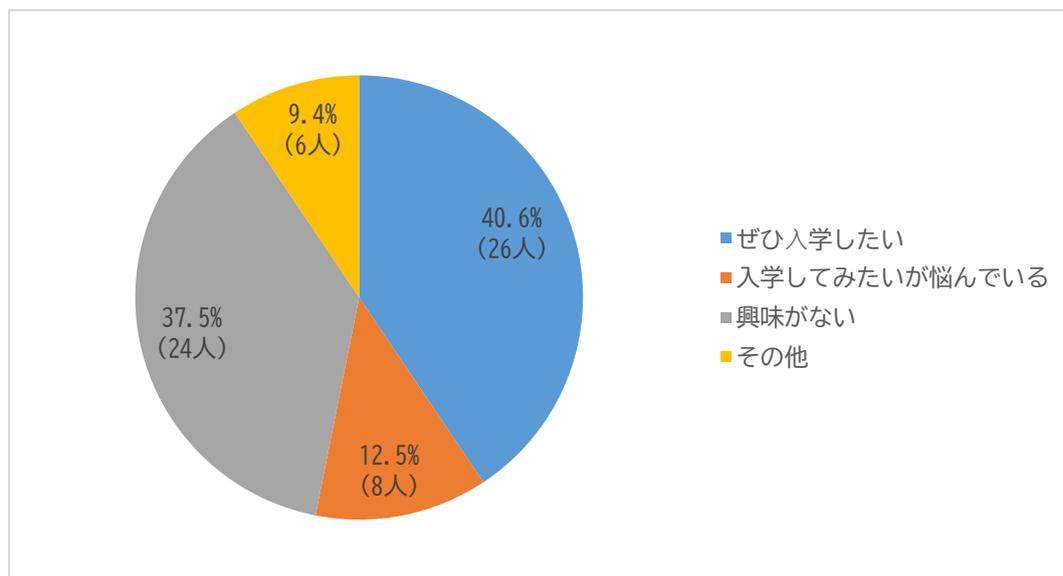
(a) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科への、入学希望を問う質問の結果は、図3のとおりである。

「ぜひ入学したい」との回答が26人、「入学してみたいが悩んでいる」との回答が8人と53.1%が入学の希望を示している。

他に「その他」の内容としては、博士前期課程在学中や修了済みであるとの意見が上がっている。

図3 医歯保健学研究科への入学希望



(b) 医歯保健学研究科への入学希望時期

「ぜひ入学したい」、「入学してみたいが悩んでいる」と回答した方に、入学時期を問う質問への回答結果は、表3のとおりである。

「令和8年度」との回答は18人、「令和9年度～11年度」との回答は5人であり、具体的な入学時期を想定した回答が23人と、半数以上の方が具体的に入学を検討していることを示している。

表3 入学を希望する時期

入学希望時期	人数	比率
令和8年度	18	52.9%
令和9年度～令和10年度	5	14.7%
決めていない	11	32.4%
合計	34	100.0%

(c) 大学院入学を悩む理由

入学意向を問う質問で、「入学したいが悩んでいる」との回答した方に、悩んでいる理由を問う質問への回答結果は、表4のとおりである。

懸念として、最も多く挙げられているのは「仕事との両立」「時間や体力」「経済的理由」であった。

社会人の大学院入学への障壁を払拭させるためには、奨学金の充実など、経済的負担の軽減が必要であることを示している。

表4 入学を悩んでいる理由

悩んでいる理由	人数	比率
仕事との両立	7	29.2%
時間や体力	7	29.2%
経済的理由	5	20.8%
その他	5	20.8%

(d) 希望する学位プログラム

「ぜひ入学したい」、「入学したいが悩んでいる」と回答した方への、希望する学位プログラムを問う質問への回答の入学希望時期別の結果は、表5のとおりである。

入学を希望する時期にはバラつきがあるが、開設時の令和8年度の入学希望者は18人と一定数いることを示している。

表5 入学を希望する学位プログラム（社会人）

専攻	学位プログラム	令和8年度	令和9～10年度	未定
健康科学専攻	メディカルサイエンスプログラム（博士前期課程）	3	2	0
	口腔保健福祉学プログラム（博士前期課程）	9	1	1
	看護学プログラム（博士前期課程）	1	0	2
	次世代医療技術科学プログラム（博士前期課程）	5	0	5
計		18	3	8

(e) 調査結果の考察

以上の調査の結果、医歯保健学研究科へ、社会人学生としての入学の意向を持つ方は相当数確認することができる。

今後、大学院で学び直しの意向を持つ、社会人等が、実際に入学に結び付くよう、大学として、経済的支援の充実や社会人が無理なく学び続けられる場所や時間の制約のない環境整備が必要であることを示している。

イ 健康科学専攻（博士後期課程）に関するアンケート

(ア) 修士課程1年生及び博士前期課程1年生に対するアンケート

上記（1）で設定する入学定員が充足できる見通しについて調査するため、本学に在籍する大学院博士前期課程・修士課程1年次生～2年次生（新研究科への進学が想定される本学大学院：医歯学総合研究科、現代社会文化研究科、自然科学研究科、保健学研究科1～2年を対象）にアンケート調査を実施した。

ただし、大学院1～2年次生のアンケート調査は参考程度とし、以下の調査結果の分析は、医歯保健学研究科を設置する令和8年4月入学予定の1年次生の回答にもとづいて実施している。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：187人（対象 629人）、回収率 29.7%

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・属性（学年、性別、所属する学位プログラム）
- ・卒業後の進路
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・進学する大学院の設置主体
- ・興味のある学問系統
- ・新研究科への入学希望
- ・新研究科への合格した場合の入学希望
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・学位プログラムを選択した理由
- ・博士後期課程への進学意向

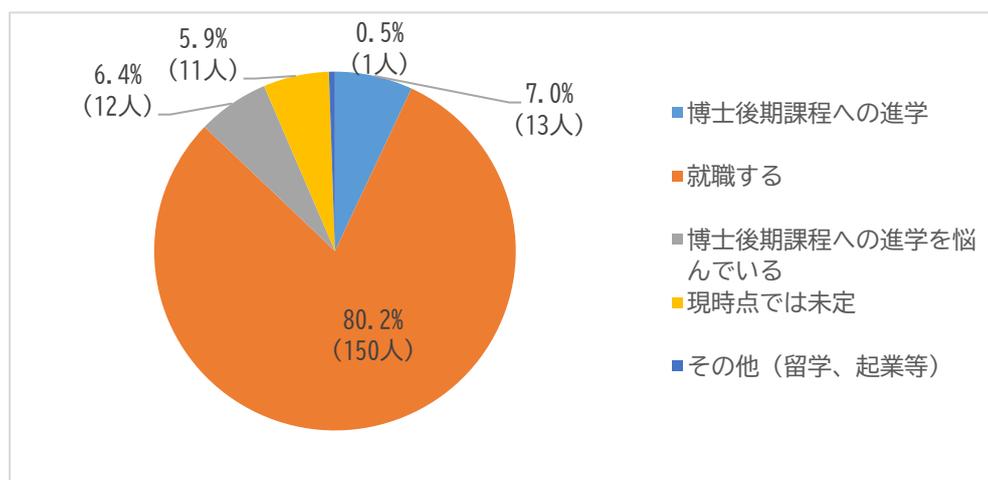
c 調査結果（調査結果の詳細は【資料4】）

(a) 修了後の進路

現時点で修了後の進路について問う質問の結果は図4のとおりである。

「博士後期課程への進学」との回答が13人、「博士後期課程への進学について悩んでいる」との回答が12人と、合計で25人が大学院への進学を意識していることを示している。

図4 大学院への進学希望



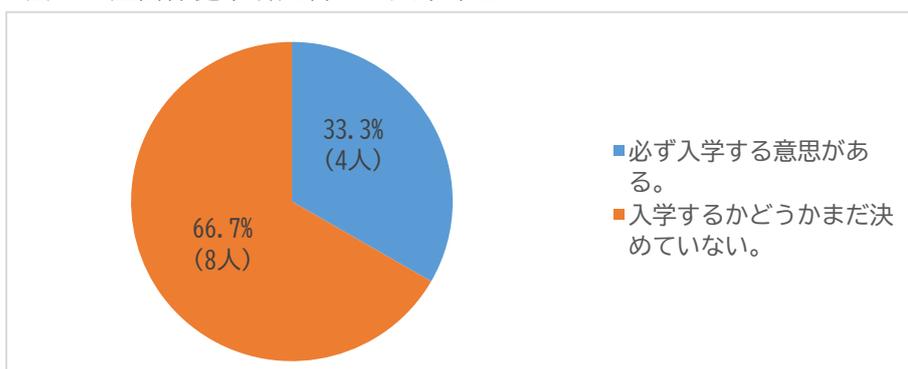
(b) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科を受験して、合格した場合、入学するかを問う質問の結果は図5のとおりである。

「必ず入学する意思がある」との回答した学生は4人であった。

本研究科が第1志望ではない学生もいるものの、「入学するかどうか決めていない」と回答した学生が8人いたことから、本研究科を第1希望として、入学に結び付く学生がそれなりにいると考えられる。

図5 医歯保健学研究科への入学希望



(c) 入学を希望する学位プログラムについて

医歯保健学研究科への入学希望を示した学生に対して、入学を希望する学位プログラムについて問う質問の結果は表6のとおりである。

なお、在学生以外の入学見込み数も勘案した、定員充足の見込みについては、(6)において説明する。

表6 入学を希望する学位プログラム（修士課程、博士前期課程1年次生）

	学位プログラム	人数	目安定員
1	口腔保健福祉学プログラム（博士後期課程）	2	3
2	看護学プログラム（博士後期課程）	2	3
3	次世代医療技術科学プログラム（博士後期課程）	4	4
	計	8	10

(イ) 社会人向けアンケート

社会人の学びの場の拡大が必要とされる中、高等教育機関は、社会のニーズに沿う教育プログラムの充実、リスクリテラシー教育の環境整備が求められている。

現役社会人等の、新設する「医歯保健学研究科」への入学希望、入学後に活用を希望する制度について、調査するためアンケートを実施した。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：44人

- ・現に職を有している又は勤務経験のある者のうち、大学院での学び直しに関心のある者
- ・医学部保健学科卒業生、歯学部口腔生命福祉学科卒業生、本学及び新潟大学医歯学総合病院に勤務する社会人を対象に実施

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・新研究科への入学希望度
- ・新研究科への入学希望時期
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・選択した学位プログラムの理由
- ・博士後期課程への進学意向
- ・活用を希望する制度

c 調査結果（調査結果の詳細は【資料5】）

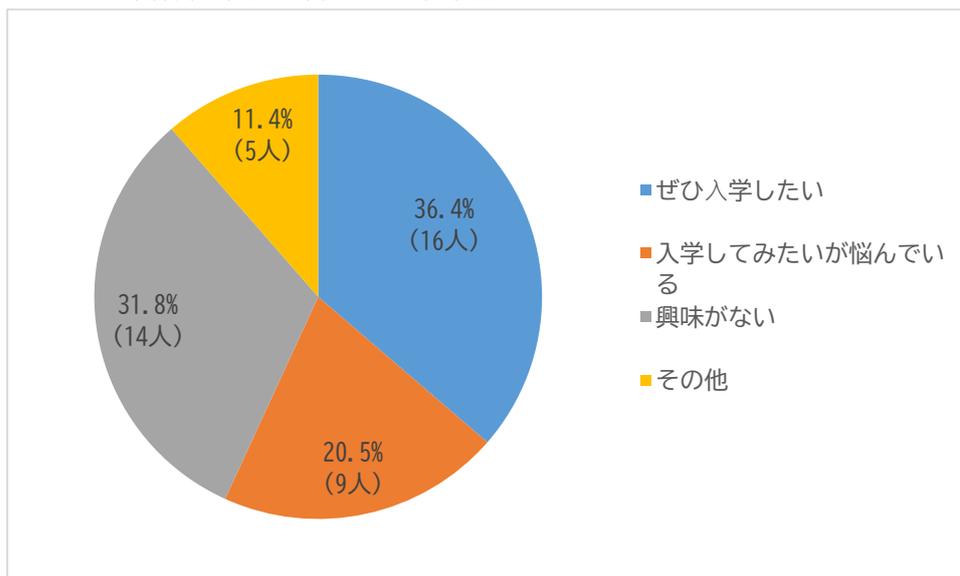
(a) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科への、入学希望を問う質問の結果は、図6のとおりである。

「ぜひ入学したい」との回答が16人、「入学してみたいが悩んでいる」との回答が9人と56.9%が入学の希望を示している。

他に「その他」の内容としては、博士前期課程在学中や修了済みであるとの意見が上がっている。

図6 医歯保健学研究科への入学希望



(b) 医歯保健学研究科への入学希望時期

「ぜひ入学したい」、「入学したいが悩んでいる」と回答した方に、入学時期を問う質問への回答結果は、表7のとおりである。

「令和8年度」との回答は10人、「令和9年度～11年度」との回答は7人、「決めていない」との回答が8人と、具体的な入学時期を想定した回答が17人と、半数以上の方が具体的に入学を検討していることを示している。

表7 入学を希望する時期

入学希望時期	人数	比率
令和8年度	10	40.0%
令和9年度～令和10年度	7	28.0%
決めていない	8	32.0%
合計	25	100.0%

(d) 大学院入学を悩む理由

入学意向を問う質問で、「入学したいが悩んでいる」との回答した方に、悩んでいる理由を問う質問への回答結果は、表8のとおりである。

懸念として、最も多く挙げられているのは「経済的理由」「修了後の進路が不安」であった。

社会人の大学院入学への障壁を払拭させるためには、奨学金の充実など、経済的負担の軽減が必要であることを示している。

表8 入学を悩んでいる理由

悩んでいる理由	人数	比率
経済的理由	7	53.8%
修了後の進路が不安	3	23.1%
その他	3	23.1%

(e) 希望する学位プログラム

「ぜひ入学したい」、「入学したいが悩んでいる」と回答した方への、希望する学位プログラムを問う質問への回答の入学希望時期別の結果は、表9のとおりである。

入学を希望する時期にはバラつきがあるが、開設時の令和8年度の入学希望者は10人と一定数いることを示している。

表9 入学を希望する学位プログラム（社会人）

専攻	学位プログラム	令和8年度	令和9～10年度	未定
健康科学専攻	口腔福祉保健学プログラム（博士後期課程）	4	2	1
	看護学プログラム（博士後期課程）	2	2	2
	次世代医療技術科学プログラム（博士後期課程）	4	2	4
計		10	6	7

(f) 調査結果の考察

以上の調査の結果、医歯保健学研究科へ、社会人学生としての入学の意向を持つ方は相当数確認することができる。

今後、大学院で学び直しの意向を持つ、社会人等が、実際に入学に結び付くよう、大学として、経済的支援の充実や社会人が無理なく学び続けられる場所や時間の制約のない環境整備が必要であることを示している。

ウ 医歯学専攻（博士課程）に関するアンケート

(ア) 修士課程1年生及び博士前期課程1年生に対するアンケート

上記（1）で設定する入学定員が充足できる見通しについて調査するため、本学に在籍する大学院博士前期課程・修士課程1年次生～2年次生（新研究科への進学が想定される本学大学院：医歯学総合研究科、現代社会文化研究科、自然科学研究科、保健学研究科1～2年を対象）にアンケート調査を実施した。

ただし、大学院1～2年次生のアンケート調査は参考程度とし、以下の調査結果の分析は、医歯保健学研究科を設置する令和8年4月入学予定の1年次生の回答にもとづいて実施している。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：194人（対象 629人）、回収率 30.8%

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・属性（学年、性別、所属する学位プログラム）
- ・卒業後の進路
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・進学する大学院の設置主体
- ・興味のある学問系統
- ・新研究科への入学希望

- ・新研究科への合格した場合の入学希望
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・学位プログラムを選択した理由
- ・博士後期課程への進学意向

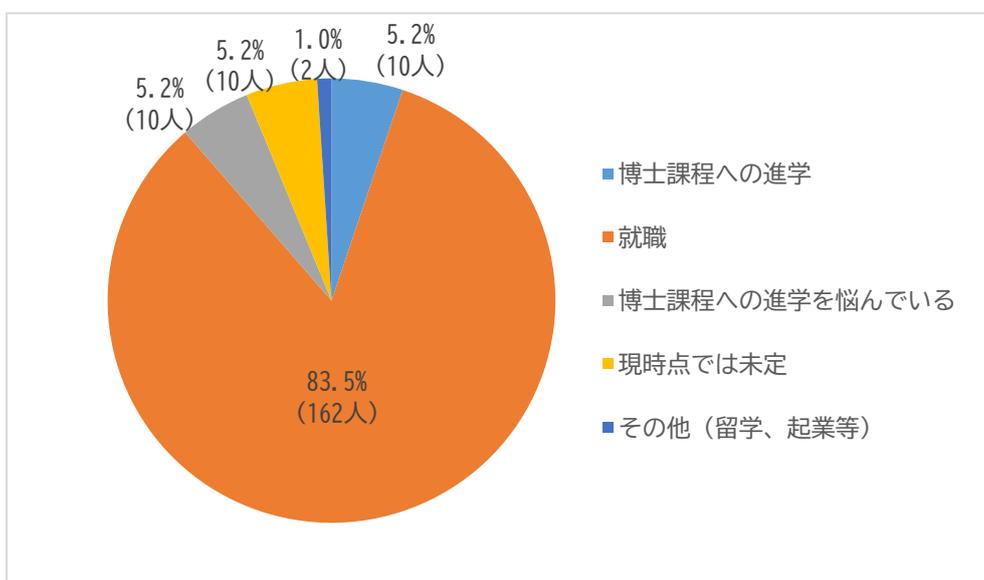
c 調査結果（調査結果の詳細は【資料6】）

(a) 卒業後の進路

現時点で卒業後の進路について問う質問の結果は図7のとおりである。

「博士課程への進学」との回答が10人、「博士課程への進学について悩んでいる」との回答が10人と、合計で20人が大学院への進学を意識していることを示している。

図7 大学院への進学希望



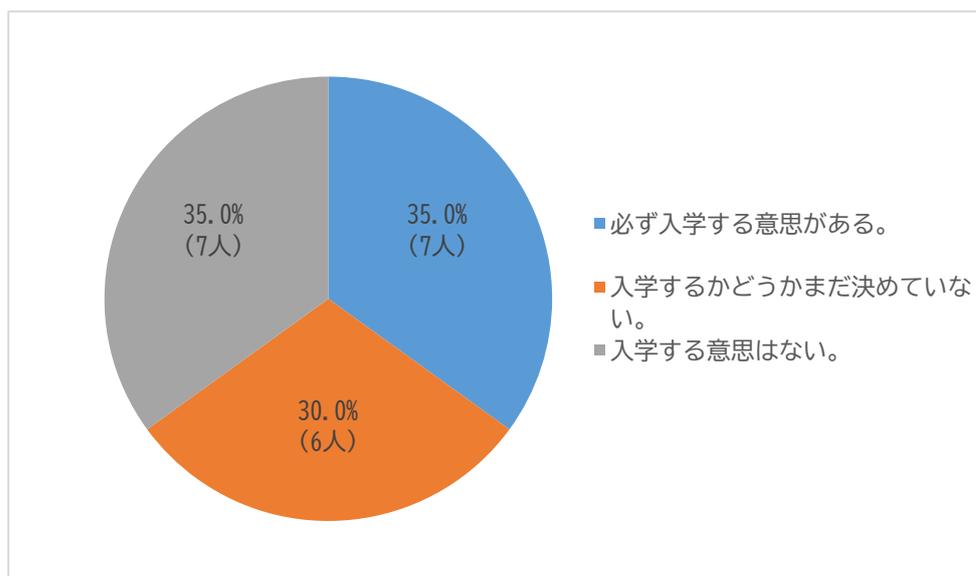
(b) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科を受験して、合格した場合、入学するかを問う質問の結果は図8のとおりである。

「必ず入学する意思がある」との回答した学生は7人であった。

本研究科が第1志望ではない学生もいるものの、「入学をするかどうかまだ決めていない」と回答した学生が6人いたことから、本研究科を第1希望として、入学に結び付く学生がそれなりにいると考えられる。

図8 医歯保健学研究科への入学希望



(c) 入学を希望する学位プログラムについて

医歯保健学研究科への入学希望を示した学生に対して、入学を希望する学位プログラムについて問う質問の結果は表10のとおりである。

なお、在学生以外の入学見込み数も勘案した、定員充足の見込みについては、(6)において説明する。

表10 入学を希望する学位プログラム（修士課程及び博士前期課程1年次生）

	学位プログラム	人数	目安定員
1	医学プログラム・グローバル医療研究コース(仮称)	1	7~8
2	医学プログラム・精密医学研究コース(仮称)	1	47~48
3	医学プログラム・脳とこころの医学研究コース(仮称)	2	18~19
4	歯学プログラム	1	28
	計	5	101

(イ) 社会人向けアンケート

社会人の学びの場の拡大が必要とされる中、高等教育機関は、社会のニーズに沿う教育プログラムの充実、リスキリング教育の環境整備が求められている。

現役社会人等の、新設する「医歯保健学研究科」への入学希望、入学後に活用を希望する制度について、調査するためアンケートを実施した。

a 調査概要

実施期間：令和7年1月14日～令和7年3月31日

調査方法：Microsoft Forms

回答者数：265人

- ・現に職を有している又は勤務経験のあるもののうち、大学院での学び直しに関心のある者
- ・医学部保健学科卒業生、歯学部口腔生命福祉学科卒業生、本学及び新潟大学医歯学総合病院に勤務する社会人を対象に実施

なお、アンケート実施の際に、新研究科の構想のパンフレットを配付している。

b 調査内容

- ・新研究科への入学希望度
- ・新研究科への入学希望時期
- ・大学院への入学を悩んでいる理由
- ・入学を希望する学位プログラム
- ・選択した学位プログラムの理由
- ・博士後期課程への進学意向
- ・活用を希望する制度

c 調査結果（調査結果の詳細は【資料7】）

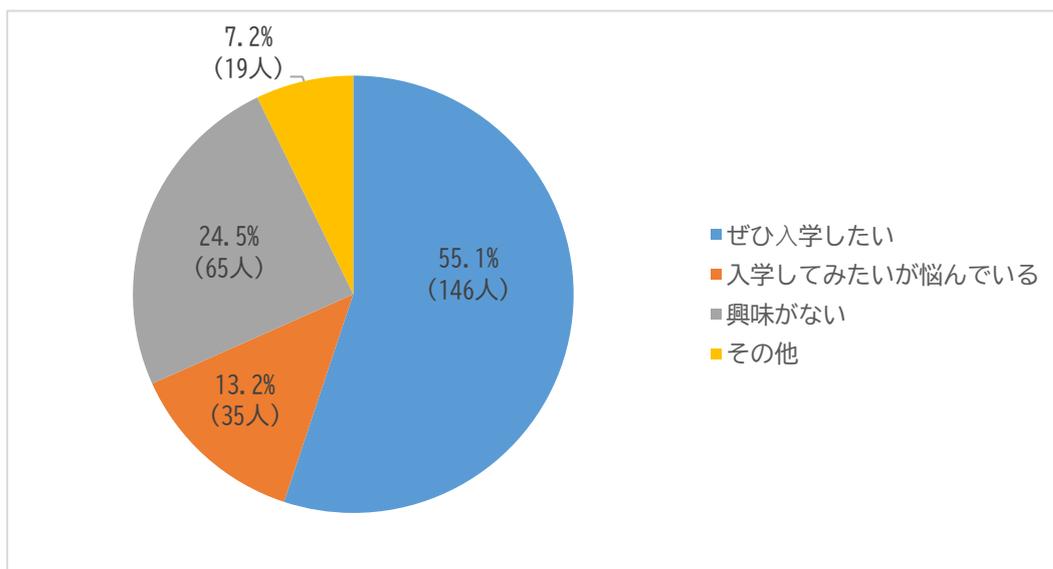
(a) 医歯保健学研究科への入学希望

医歯保健学研究科への、入学希望を問う質問の結果は、図9のとおりである。

「ぜひ入学したい」との回答が146人、「入学してみたいが悩んでいる」との回答が35人と68.3%が入学の希望を示している。

他に「その他」の内容としては、博士前期課程在学中や修了済みであるとの意見が上がっている。

図9 医歯保健学研究科への入学希望



(b) 医歯保健学研究科への入学希望時期

「ぜひ入学したい」、「入学してみたいが悩んでいる」と回答した方に、入学時期を問う質問への回答結果は、表 11 のとおりである。

「令和 8 年度」との回答は 114 人、「令和 9 年度～12 年度」との回答は 15 人、「令和 11 年度～令和 12 年度」との回答が 2 人であり、具体的な入学時期を想定した回答が 131 人と、半数以上の方が具体的に入学を検討していることを示している。

表 11 入学を希望する時期

入学希望時期	人数	比率
令和 8 年度	114	63.0%
令和 9 年度～令和 10 年度	15	8.3%
令和 11 年度～令和 12 年度	2	1.1%
決めていない	46	25.4%
その他	4	2.2%
合計	181	100.0%

(c) 大学院入学を悩む理由

入学意向を問う質問で、「入学してみたいが悩んでいる」との回答した方に、悩んでいる理由を問う質問への回答結果は、表 12 のとおりである。

懸念として、最も多く挙げられているのは「経済的理由」「修了後の進路が不安」であった。

社会人の大学院入学への障壁を払拭させるためには、奨学金の充実など、経済的負担の軽減が必要であることを示している。

表 12 入学を悩んでいる理由

悩んでいる理由	人数	比率
経済的理由	20	46.5%
修了後の進路が不安	14	32.5%
家族の反対	3	7.0%
その他	6	14.0%

(d) 希望する学位プログラム

「ぜひ入学したい」、「入学してみたいが悩んでいる」と回答した方への、希望する学位プログラムを問う質問への回答の入学希望時期別の結果は、表 13 のとおりである。

入学を希望する時期にはバラつきがあるが、開設時の令和 8 年度の入学希望者は 114 人と一定数いることを示している。

表 13 入学を希望する学位プログラム（社会人）

専攻	学位プログラム	令和 8 年度	令和 9～ 10 年度	令和 11～ 12 年度	未定 他
医歯学 専攻	医学プログラム・グローバル医療研究コース(仮称)	22	5	0	17
	医学プログラム・精密医学研究コース(仮称)	27	5	1	5
	医学プログラム・脳とこころの医学研究コース(仮称)	27	1	1	5
	歯学プログラム	33	1	0	11
計		109	12	2	38

d 調査結果の考察

以上の調査の結果、医歯保健学研究科へ、社会人学生としての入学の意向を持つ方は相当数確認することができる。

今後、大学院で学び直しの意向を持つ、社会人等が、実際に入学に結び付くよう、大学として、経済的支援の充実や社会人が無理なく学び続けられる場所や時間の制約のない環境整備が必要であることを示している。

(3) 留学生の入学状況

留学生を対象としたアンケートは実施していないため、過去5年間（令和2年度～令和6年度）の既設研究科への入学状況を基に、留学生の新研究科への入学の見通しについて考察する。新研究科の学位プログラムに移行する既設専攻への留学生の入学状況は表14のとおりである。

表 14

【健康科学専攻（博士前期課程）】

メディカルサイエンスプログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻（）は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
医科学専攻(20)	16	10	14	29	15	17
うち留学生	4	0	1	3	3	2

口腔保健福祉学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻（）は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
口腔生命福祉学専攻(6)	4	6	1	5	5	4
うち留学生	1	0	0	0	0	0

看護学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻（）は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
保健学専攻看護学分野(専攻で20)	7	5	9	6	10	7
うち留学生	0	0	0	0	0	0

次世代医療技術科学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻（）は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
保健学専攻放射線技術科学分野(専攻で20)	10	12	7	5	5	8
うち留学生	0	0	0	0	0	0
保健学専攻検査技術科学分野(専攻で20)	3	5	4	7	7	5
うち留学生	0	0	0	0	1	0
計	13	17	11	12	12	13
うち留学生	0	0	0	0	1	0

4 プログラムの計

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
入学者数(46)	40	38	35	52	42	41
うち留学生	5	0	1	3	4	3

【健康科学専攻（博士後期課程）】

口腔保健福祉学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
口腔生命福祉学専攻(3)	3	3	5	4	3	4
うち留学生	0	0	0	0	0	0

看護学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
保健学専攻看護学分野(専攻で6)	3	6	5	4	4	4
うち留学生	0	0	0	0	0	0

次世代医療技術科学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
保健学専攻放射線技術科学分野(専攻で6)	3	1	2	2	3	2
うち留学生	0	0	0	0	0	0
保健学専攻検査技術科学分野(専攻で6)	2	0	0	4	3	2
うち留学生	0	0	0	0	2	0
計	5	1	2	6	6	4
うち留学生	0	0	0	0	2	0

3 プログラムの計

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
入学者数(9)	11	10	12	14	13	12
うち留学生	0	0	0	0	2	0

【医歯学専攻】

医学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
分子細胞医学専攻(22)	28	32	23	17	22	24
うち留学生	1	0	3	4	5	3
生体機能調節医学専攻(37)	36	50	33	46	39	41
うち留学生	4	8	2	4	7	5
地域疾病制御医学専攻(14)	3	5	10	4	9	6
うち留学生	0	1	7	2	2	2
計	67	87	66	67	70	71
うち留学生	5	9	12	10	14	10

歯学プログラムの基礎となる既設専攻への入学状況

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
口腔生命科学専攻(28)	35	32	27	31	32	31
うち留学生	12	11	9	14	13	12
計	35	32	27	31	32	31
うち留学生	12	11	9	14	13	12

医学プログラムと歯学プログラムの計

専攻 ()は入学定員	R2	R3	R4	R5	R6	平均
入学者数(101)	102	119	93	98	102	103
うち留学生	17	20	21	24	27	22

既設専攻の過去5年間の留学生の入学状況の平均値から、留学生は以下のとおり入学を見込む。

【博士前期課程 健康科学専攻】

- メディカルサイエンスプログラム 2人
- 口腔保健福祉学プログラム 0人
- 看護学プログラム 0人
- 次世代医療技術科学プログラム 0人

【博士後期課程 健康科学専攻】

- 口腔保健福祉学プログラム 0人
- 看護学プログラム 0人
- 次世代医療技術科学プログラム 0人

【博士課程 医歯学専攻】

- 医学プログラム 10人
- 歯学プログラム 12人

(4) 既設組織の入学定員充足の状況

既設の医歯学総合研究科と保健学研究科の過去5年間の入学定員の充足状況の実績に基づき、新研究科の入学定員の確保の見通しを検証する(資料1)。

医歯学総合研究科の過去5年間(令和2年度～令和6年度)の入学定員の充足状況は、修士課程で84.0%、博士前期課程で70.0%、博士後期課程で120.0%、博士課程で101.8%である。

博士課程について、専攻別では、分子細胞医学専攻、生体機能調節医学専攻、口腔生命科学専攻で入学定員を充足しているものの、地域疾病制御医学専攻では定員を大きく下回る充足率となっている。

保健学研究科保健学専攻の過去5年間(令和2年度～令和6年度)の入学定員の充足状況は、博士前期課程で102.0%、博士後期課程で140.0%となっており、入学定員を充足している。

(5) 医歯保健学研究科の入学定員の充足の見通し

在学生及び社会人に対するアンケート結果と、今回、アンケートを実施していない留学生の近年の入学状況を勘案し、医歯保健学研究科の定員充足の見通しを分析する。

学部3年次在学生、修士課程・博士前期課程1年次在学生、並びに社会人へのアンケートにおいて、医歯保健学研究科への入学意向が確認できた者の人数と、留学生の過去5年間(令和2年度～令和6年度)の入学状況を基に算出した、医歯保健学研究科で開設する学位プログラムごとの入学者数の見通しが表15である。

表15 入学を希望する学位プログラム

【健康科学専攻(博士前期課程)】

学位プログラム	在学生	社会人	留学生	計	目安定員
メディカルサイエンスプログラム	10	3	2	15	14
口腔保健福祉学プログラム	1	9	0	10	6
看護学プログラム	1	1	0	2	10
次世代医療技術科学プログラム	19	5	0	24	10
計	31	18	2	51	40

【健康科学専攻(博士後期課程)】

学位プログラム	在学生	社会人	留学生	計	目安定員
口腔保健福祉学プログラム	2	4	0	6	3
看護学プログラム	2	2	0	4	3
次世代医療技術科学プログラム	4	4	0	8	4
計	8	10	0	18	10

【医歯学専攻（博士課程）】

学位プログラム	在学生	社会人	留学生	計	目安定員
医学プログラム	4	76	10	90	73人
グローバル医療研究コース	1	22	-	23	(7~8)
精密医学研究コース	1	27	-	28	(47~48)
脳とこころの医学研究コース	2	27	-	29	(18~19)
歯学プログラム	1	33	12	46	28
計	5	109	22	136	101

このように、入学希望者数は、健康科学専攻（博士前期課程）で51人、健康科学専攻（博士後期課程）で18人、医歯学専攻で136人となるが、この数字はすでに各専攻の定員（40人、10人、101人）を超えている。一部のプログラムで目安定員を下回っているものの、各専攻の定員充足は十分に見込めるといえる。

なお、学位プログラムごとに設定した目安定員は、今後の充足状況等を勘案し、完成年度に評価を行い、その後も定期的な見直しを行う。

2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

(1) 学部学生等に向けた大学院への進学説明会・座談会・アンケートの開催

新研究科の前身である医歯学総合研究科修士課程では、入試説明、教室紹介を毎年行っている。(毎年 15 人程度参加)。そこでは、博士課程進学や就職へのキャリアパス、「グローバル医学入門」などの英語を用いた研究活動を行う授業の照会、「みかんの会」などの審査会形式での発表トレーニングの紹介、入学後の具体的な研究関連情報の提供を行い、志願者のモチベーションを高める取り組みを行っている。また、同研究科博士課程の医学系専攻においても修士課程同様に入試説明・教室紹介の動画を作成し、ホームページ上に公開している。

脳研究所では、博士・修士志願者向けに、4～6月に全研究室が週替わりで“ラボウォーク”を開催している。各ラボでは、研究テーマと先端技術を紹介するミニセミナーや教室主催のハンズオン実習を実施し、志願者が自ら実験系に触れる機会を用意する。また、PI 及び若手研究員が個別面談を行い、研究計画のブラッシュアップ、博士後期課程への進学や企業研究職へのキャリアパス、学振 DC・PD 取得戦略まできめ細かく助言する。さらに、入学試験までの期間で、脳科学の第一線研究者を招聘した公開セミナーを開催する等、最新成果と社会的インパクトを広く発信する等、志願者の研究モチベーションを高める取り組みを行っている。

医歯学総合研究科博士課程口腔生命科学専攻では研修医を対象にした大学院セミナーを、医歯学総合研究科博士後期課程口腔生命福祉学専攻では、歯学部口腔生命福祉学科の学生等を対象とした大学院説明会を毎年6月に開催するとともに、学内外の大学院進学希望者を対象とした個別相談を実施し、大学院への勧誘を行っている。

保健学研究科においても、学生インタビュー動画や研究室紹介動画を作成し、大学院紹介ページ「大学院のすすめ」に掲載している。当該ページの年間平均閲覧数は 1,846 回(月間平均 153.8 回)に達しており、学生や社会からの関心の高さがうかがえる。

新研究科の発足にあたっては、学部学生及び博士前期課程在学学生を対象とした大学院説明会を開催する。あわせて、現行の紹介動画を新研究科用に更新し、ホームページ上で公開することを検討している。

(2) 入学試験の統一による自然科学系学部からの大学院進学者の増加

新研究科の前身である医歯学総合研究科及び保健学研究科では、大学院入試の試験科目が専攻ごとに異なっており、特に保健学研究科では「専門科目」が課されていたため、医療系の有資格者でなければ受験が困難な状況であった。結果として、他分野からの進学希望者の受け入れに制限が生じていた。

新設された研究科では、令和8年4月設置予定の総合学術研究科とほぼ同様の入試科目を採用し、試験制度を簡素化することで、自然科学系の学部出身者でも受験しやすい環境が整備された。これにより、同分野からの大学院進学者の増加が見込まれる。

現在、医療機器、健康食品、介護用品などの開発及び実用化において、健康に関する高度な知識と研究能力を兼ね備えた人材への社会的ニーズは高まっている。新潟県内には、医学・歯学・保健学が融合した大学院は存在せず、本研究科は地域における独自性と先進性を備えた大学院教育の拠点となる。そのため、本学の自然科学系学部の卒業生のみならず、周辺地域の大学の卒業生が本研究科への進学を志望することが期待される。

(3) 修学支援制度の拡充とキャリア支援体制の強化

新潟大学修学支援貸与金制度等の本学独自の支援体制の整備を進めると共に、博士課程進学
の推進及び博士課程学生のキャリア支援を行う PhD リクルート室、教育研究高度化センター等
を中心に、大学院学生支援体制の強化を進めている。これらの手厚い大学院生支援体制の存在
は、進学決定の大きな要因の一つであることから、進学率向上に貢献することが期待できる。

(4) 新研究科の概要を説明したパンフレットでの周知

新研究科へ移行することで高まる大学院教育の魅力を中心に、新研究科の概要と体制を分か
りやすく端的に伝えるため、要点を絞って内容を短くまとめたデジタルパンフレットの作成を
計画している。これにより、新研究科の魅力を効率よく伝えることができ、進学率の向上につ
ながると見込まれる。

(5) 大学院ホームページによる学外学生や社会人への研究発信

現行の医歯学総合研究科では、ホームページに医学系研究者が集う最先端の研究交流の場
ある「知の広場」を開設し、研究情報交換を積極的に行っている。活発な研究交流の様子が可
視化されることで、入学希望者が研究環境の魅力を具体的に感じることができる。

(6) 大学院ホームページの改修と SNS による研究紹介

新研究科の設置にあたり、現行の研究科における入試説明会や研究紹介動画を活用・更新し、
ホームページ上で体系的に発信する体制を整備する。また SNS を活用して、研究室紹介やセミ
ナー、学生インタビューなどの活動について積極的に発信し、研究の魅力を広く伝えるととも
に、志願者が研究環境を具体的にイメージできるよう工夫することを計画している。

(7) 優秀な留学生・社会人の獲得に向けた取組

① 留学生確保の取り組み

医学部医学科では、毎年、夏期医学生交流プログラム（アジア・ユーラシア地区の医学生
を対象）を開催しており、参加学生は、プログラムを通じて本学の教育・研究環境に触れる
ことで、大学院の進学に強い関心を持ち、これまで複数名が入学している。

医歯学総合研究科博士課程口腔生命科学専攻では、歯学部主催の国際シンポジウムを東南
アジア諸国で定期的に主催し、本学大学院入学への勧誘につなげている。また、海外留学支
援制度（協定受入）を活用し、アジア・南米諸国（中国、インドネシア、タイ、ネパール、ベ
トナム、ペルー、フィリピン）の歯学部からの学生を受け入れ、国際プログラムを実施する
ことで、大学院入学への勧誘を行っている。

保健学研究科では、海外協定校であるペラデニア大学(スリランカ)から毎年大学院生の入
学希望があり、1～2人が入学している。これを継続するために、毎年実施している国際シ
ンポジウムを活用し、広報を強化する。

新研究科では、留学生の受け入れ促進を目的として、英語版パンフレットの作成及び配信
を計画している。

② 国費外国人留学生の受入れ、国費外国人留学生特別プログラムの申請

現行の医歯学総合研究科医学系の3専攻及び脳研究所では、文部科学省の国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムを切れ目なく申請、採択されており、2021年度からは「生体システム医学を基軸とした医学生物学者育成プログラム」、2023年度からは「東南、南西アジアにおける、新興再興感染症対策に資する人材育成とネットワーク形成プログラム」に採択され、毎年、留学生を受け入れている。

現行の医歯学総合研究科博士課程口腔生命科学専攻では、2022年度国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムに申請し、「高齢社会で活躍できる歯科医療リーダー養成プログラム」が採択され、毎年留学生を受け入れている。

③ 社会人獲得の取り組み

現行の保健学研究科では、医療系資格を有する社会人に向けたリカレント教育を例年実施している。具体的には「細胞検査士」育成のための履修コース、AIを活用した画像診断のためのコース、訪問看護師に向けた在宅ICT活用コースなどである。延べ人数として2023年は324人、2024年は234人が県内外から受講した。この機会を新研究科の広報に活用し、進学率の向上につなげることを計画している。

・専門看護師の育成

保健学研究科博士前期課程及び博士後期課程の看護学分野においては、例年、新潟大学附属医歯学総合病院や魚沼基幹病院の看護部より進学説明会の開催要望が寄せられている。これに対応し、新研究科の設置に際しても、オンラインによる説明会を開催し、進学希望者に向けた情報発信を強化していく。その際、博士前期課程の看護学プログラムの中で、専門看護師の履修モデルは文部科学省の「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されていることを明確に伝え、経済的な支援についての情報を強化する。

日本看護協会、新潟県看護協会からも、専門看護師の育成には強い要望が出されているため、パンフレット配布や広報については全面的な協力が得られることが見込まれる。

・医学物理士養成コース

新研究科博士前期課程の次世代医療技術科学プログラムでは、進学希望者向けの情報発信を強化していくが、特に多くの学生に興味を持たれている「医学物理士養成コース」は、一般財団法人医学物理士認定機構より「認定医学物理教育コース」として認定されていることを明確に伝える。また、同コースは文部科学省補助金事業「東北広域次世代がんプロ養成プラン」(東北がんプロ)のコースともなっており、ホームページやパンフレットによる広報活動において全面的な協力が得られることが見込まれる。医学物理士養成コース所属の学生が学会やセミナーに参加する際には、東北がんプロから経済的支援が得られることを、進学希望者向けに明確に伝える。

3. 社会的要請や人材需要の動向

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

世界の医療・保健分野は、感染症や慢性疾患の増加、医療資源の不均衡、高齢化による医療需要の増大に加え、先端医療技術に伴う倫理的・法的・社会的影響（ELSI）への対応が求められる多様で複雑な課題に直面している。これらの課題に対して、医療システムの強化や予防医療の推進、医療技術の適切な活用と規制の整備、さらには倫理的配慮を踏まえた政策の策定が急務である。また、国内では、高齢化や少子化による医療・介護需要の増大と労働力不足が深刻化し、医療費の増加や地域医療の格差が社会の持続可能性に大きく影響を及ぼしている。このような状況においては、高度な専門職の育成と、医療・保健・福祉分野を横断的に学ぶ教育の充実が求められる。先端医療技術の開発とその適切な運用に加え、多職種連携の促進や地域医療の強化、予防医療の推進を図るためには、学際的なアプローチが重要である。そのため、次世代の医療を支える高度な人材の育成と、それを支える大学院教育の充実が不可欠である。これからの大学院教育では、専門知識の修得だけでなく、異分野を横断する学際的な視点や多職種連携のスキルを養い、先端医療技術の社会的・倫理的な影響にも対応できる力を身につけることが求められる。そのため、複雑化する医療課題や多様な社会的ニーズに柔軟に対応できる総合的な知を備えた医療人材の育成が必要である。

教育未来創造会議等では、医療、保健、福祉分野における多様な「知」の融合と学際的なアプローチによる「総合知」の創出が重要であるとされている。特に、高齢化や医療の高度化に伴い、多職種が連携して患者ケアを行うための教育が求められており、各専門職がそれぞれの役割を理解し、チームとして効果的に機能する能力の養成が必要である。また、デジタル技術やAIの普及に対応した教育の充実や、新しい医療手法を取り入れるためのカリキュラムの整備、さらに地域医療の強化も重視されている。実践的なスキルを備え、技術革新や地域の課題に対応できる医療人材の育成に向けて、大学入学者選抜や大学教育改革への積極的な取り組みが求められている。

新潟県や環日本海地域では、全国平均を上回る人口減少と少子高齢化が進行しており、地域社会における医療や福祉のニーズが多様化している。このため、医療従事者の確保と医療サービスの質の向上が急務となっている。さらに、高齢者の増加に伴い、認知症を含む複数の疾患を抱えた人々への包括的なケアがますます重要になっており、これには多分野にわたる知識と実践の統合が不可欠である。また、過疎化が進む離島や山間部では、医療・福祉サービスの不足や住民の社会的孤立が深刻な問題となっている。こうした課題に対応するため、新潟大学は地域の中核を担う大学としての役割をさらに強化し、地域社会への貢献を目指した教育・研究の改革を進める必要がある。特に、高度な専門知識を持った人材の育成を目的とした大学院改革が重要である。地域の課題を解決するためには、大学が持つ研究力や知識を地域のニーズに適応させて実践的に活用することに加え、医療・福祉のさまざまな分野で活躍できる総合的な知識と能力を備えた人材の育成が求められる。

地域社会や世界規模で複雑化する医療・保健課題に対応するためには、地域特有の課題に焦点を当てた研究の強化と、それらの課題解決に貢献できる人材の育成が急務である。社会や地域における問題解決には、単一の学術分野の知見だけでは不十分であり、医学・歯学・保健学の知見を統合することが有効である。また、現代社会においては多様な医療・保健課

題が複雑に関連し、急速に変化しているため、必要とされる知識や技術も多岐にわたり、進化し続けることが予測される。したがって、こうした分野の進展や変容に対応できる基盤的かつ共通的な素養や能力の育成が重要である。そのためには、医学・歯学・保健学の分野を横断的に学び、「総合知」を創出する新たなプログラムが必要であり、それによって社会が求める知識や技術を持つ高度専門人材を育成する。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

上記(1)のとおり、新設する「医歯保健学研究科」が社会的、地域的な人材需要動向を踏まえたものであることを示すものとして、国、新潟県等の資料から説明する。

新潟県¹⁾²⁾及び厚生労働省³⁾は、新潟県における地域医療の課題等について以下を掲げている。

① 高齢化に対応できる地域密着型医療人材の養成

新潟県では、75歳以上の後期高齢者の割合が今後も増加し、入院患者の6割以上を占めると予測されており、肺炎・骨折・心不全など高齢者特有の疾患に対応できる医療人材が必要である。

② 総合診療能力を持つ医師

高度・専門的な治療のニーズは相対的に減少し、総合的な診療が求められる疾患(例：慢性疾患、生活習慣病など)が主流になるとされており、幅広い診療能力を持つ総合診療医の育成が急務である。

③ 地域包括ケアを支える多職種連携型人材

医療と介護の連携が不可欠となる中で、看護師、薬剤師、リハビリ職などが連携して地域包括ケアを実践できる人材、特に在宅医療や訪問看護の分野で活躍する人材が求められる。

④ 災害医療・救急医療に対応できる人材

新潟県は地震や豪雪などの自然災害リスクが高く、24時間365日の救急体制を維持するための医師・看護師の確保が課題である。災害時の医療対応力を持つ人材の育成が必要である。

⑤ 医師の働き方改革に対応できる体制構築者

2024年からの医師の時間外労働規制により、医師の数が足りない診療科では夜間・休日の診療体制が維持困難になると予測されており、働き方改革を見据えた効率的な医療提供体制の設計・運営ができる人材が求められる。

以上から、高齢化や医師不足、災害リスクなど新潟県特有の地域医療課題への対応、地域に根ざした持続可能な医療体制の構築のため、総合診療医や多職種連携、災害医療に対応する人材の育成は、医歯保健学研究科で養成する人材像であることが確認できる。

また、本学医学部医学科では、2020年夏に厚生労働省による公募事業『総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業』を申請し、2020年12月に新潟大学医学部医学科総合診療学講座⁴⁾が開設され活動を開始しており、歯学総合研究科においても、総合診療医を育成する指導医・教育者として循環型の育成システムの確立に関わるキャリアパスの設計、ポストの確保を目指した取り組みを行うこととしている。

歯科専門職の人材確保・育成については、厚生労働省「歯科医療提供体制等に関する検討会中間とりまとめ」⁵⁾において「口腔の管理の重要性が高まっていること等から、在宅歯科医療や周術期等口腔機能管理等において、歯科医師だけではなく、歯科衛生士の口腔の管理へのより一層の関わりが期待されている。」「生涯を通じて歯科衛生士が自信を持って働き続けることができるよう、復職を考えている歯科衛生士やその者を教育する教育者のそれぞれのリカレント教育を行う等、環境を整備することや、多職種連携の推進のため学生教育の段階から他職種の役割等を継続的に学ぶことも重要である。」とされており、大学院として、歯科衛生士の復職支援や教育者向けのリカレント教育を充実させることが求められている。また、在宅医療や周術期口腔管理に対応できるよう、大学院生の段階から多職種連携を学ぶ教育体制の整備が重要とされていることがうかがえる。

また、第8次医療計画（2025～）の策定に向けての「疾病・事業及び在宅医療に係る体制構築に係る指針」⁶⁾には、歯科医師と比較して歯科衛生士の在宅医療への参画が低調であることを踏まえ、「歯科医師だけでなく、歯科衛生士の口腔の管理へのより一層の関わりが期待されている」との記載があり、歯科衛生士が在宅医療に必要な知識と技術を身につけられるよう、訪問口腔ケアや摂食嚥下支援、多職種連携を含む実践的な教育プログラムの整備、復職希望者や教育者に向けたリカレント教育の充実を図り、地域で継続的に活躍できる歯科衛生士の育成と支援体制の強化が求められている。

看護職では、新潟県において、看護ニーズの高度化・多様化に対応するため、専門的な知識と技術を備えた看護職員の育成を目的とした事業（専門性の高い看護職員の育成事業⁷⁾）が例年実施され、訪問看護推進や資質向上のための研修が必要とされているものの、絶対数が不足している状況にある。この課題を解決するためには、専門的な教育を提供できる研究科の設置が必要である。医歯保健学研究科は、高度実践看護師や専門看護師の育成、地域医療との連携、現職者の継続教育の場として機能し、看護の質と人材の定着を支える重要な拠点となるものである。

また、第8次新潟県地域保健医療計画⁸⁾における看護職員の数値目標として以下を掲げており、現時点で、この数に及んでいないことから、地域医療の需要に対して看護職員の供給が十分とは言えないことを示しており、今後の人材育成や教育体制の強化が求められていることがうかがえる。

<数値目標>

人口10万人当たりの就業看護職員数（常勤換算）：1,487.5人（令和11（2029）年末）

令和6年末時点 1,297.2人（全国30位）

特定行為研修を修了した看護職員数：167人（令和11（2029）年度）

以上から、医歯保健学研究科が養成する人材への評価、養成する能力は、地域社会や世界規模で複雑化する医療・保健課題への社会の要請に叶うものである。また、地域医療における課題への対応、地域医療を支える高度専門職の育成拠点としての役割について期待されていることが確認できる。

(参考資料)

- 1) 新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の方向性（グランドデザイン）について
<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/425111.pdf>
- 2) 新潟県地域医療構想の今後の進め方について
<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/297356.pdf>
- 3) 持続可能で質の高い医療を提供し続けるための新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の方向性
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000818142.pdf>
- 4) 新潟大学医学部医学科総合診療学講座
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/genm/>
- 5) 厚生労働省「歯科医療提供体制等に関する検討会中間とりまとめ」
<https://www.mhlw.go.jp/content/001257577.pdf>
- 6) 「疾病・事業及び在宅医療に係る体制構築に係る指針」
<https://www.mhlw.go.jp/content/001103126.pdf>
- 7) 令和4年度新潟県計画に関する事後評価
https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/399880.pdf?utm_source=chatgpt.com
- 8) 第8次新潟県地域保健医療計画 本編（令和6年3月策定）
<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/400363.pdf>

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

資料 1	既設研究科の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	2
資料 2	大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート（学部 3 年生対象）	
	調査内容	5
	調査結果	10
資料 3	大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート（社会人対象）	
	調査内容	16
	調査結果	21
資料 4	大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート（博士前期課程・修士課程 1 年生対象）	
	調査内容	27
	調査結果	31
資料 5	大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート（社会人対象）	
	調査内容	37
	調査結果	42
資料 6	大学院博士課程（新設）に関するアンケート（博士前期課程・修士課程 1 年生対象）	
	調査内容	48
	調査結果	53
資料 7	大学院博士課程（新設）に関するアンケート（社会人対象）	
	調査内容	58
	調査結果	63
資料 8	新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）パンフレット	69

◆既設研究科の入学定員の充足状況◆

保健学研究科（博士前期課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
保健学専攻	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	志願者数	24人	24人	21人	20人	30人	24人
	受験者数	22人	24人	20人	19人	30人	23人
	合格者数	20人	22人	20人	19人	25人	21人
	辞退者数	0人	0人	0人	1人	3人	1人
	入学者数	20人	22人	20人	18人	22人	20人
	入学定員充足率	1.00	1.10	1.00	0.90	1.10	1.02
合計	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	志願者数	24人	24人	21人	20人	30人	24人
	受験者数	22人	24人	20人	19人	30人	23人
	合格者数	20人	22人	20人	19人	25人	21人
	辞退者数	0人	0人	0人	1人	3人	1人
	入学者数	20人	22人	20人	18人	22人	20人
	入学定員充足率	1.00	1.10	1.00	0.90	1.10	1.02

医歯学総合研究科（修士課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
医科学専攻	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	志願者数	18人	12人	15人	32人	20人	19人
	受験者数	18人	12人	15人	32人	20人	19人
	合格者数	18人	12人	15人	32人	19人	19人
	辞退者数	2人	2人	1人	3人	4人	2人
	入学者数	16人	10人	14人	29人	15人	17人
	入学定員充足率	0.80	0.50	0.70	1.45	0.75	0.84
合計	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	志願者数	18人	12人	15人	32人	20人	19人
	受験者数	18人	12人	15人	32人	20人	19人
	合格者数	18人	12人	15人	32人	19人	19人
	辞退者数	2人	2人	1人	3人	4人	2人
	入学者数	16人	10人	14人	29人	15人	17人
	入学定員充足率	0.80	0.50	0.70	1.45	0.75	0.84

医歯学総合研究科（博士前期課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
口腔生命福祉学専攻	募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
	志願者数	4人	6人	2人	5人	6人	5人
	受験者数	4人	6人	2人	5人	6人	5人
	合格者数	4人	6人	1人	5人	6人	4人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	4人	6人	1人	5人	5人	4人
	入学定員充足率	0.67	1.00	0.17	0.83	0.83	0.70
合計	募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
	志願者数	4人	6人	2人	5人	6人	5人
	受験者数	4人	6人	2人	5人	6人	5人
	合格者数	4人	6人	1人	5人	6人	4人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	4人	6人	1人	5人	5人	4人
	入学定員充足率	0.67	1.00	0.17	0.83	0.83	0.70

◆既設研究科の入学定員の充足状況◆

保健学研究科（博士後期課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
保健学専攻	募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
	志願者数	9人	7人	8人	10人	10人	9人
	受験者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人
	合格者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人
	入学定員充足率	1.33	1.17	1.17	1.67	1.67	1.40
	合計						
募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人	
志願者数	9人	7人	8人	10人	10人	9人	
受験者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人	
合格者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人	
辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	8人	7人	7人	10人	10人	8人	
入学定員充足率	1.33	1.17	1.17	1.67	1.67	1.40	

医歯学総合研究科（博士後期課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
口腔生命福祉学専攻	募集人数	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	志願者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人
	受験者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人
	合格者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人
	入学定員充足率	1.00	1.00	1.67	1.33	1.00	1.20
	合計						
募集人数	3人	3人	3人	3人	3人	3人	
志願者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人	
受験者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人	
合格者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人	
辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	3人	3人	5人	4人	3人	4人	
入学定員充足率	1.00	1.00	1.67	1.33	1.00	1.20	

◆既設研究科の入学定員の充足状況◆

医歯学総合研究科（博士課程）

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
分子細胞医学専攻	募集人数	22人	22人	22人	22人	22人	22人
	志願者数	28人	32人	24人	19人	22人	25人
	受験者数	28人	32人	24人	19人	22人	25人
	合格者数	28人	32人	23人	19人	22人	25人
	辞退者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
	入学者数	28人	32人	23人	17人	22人	24人
	入学定員充足率	1.27	1.45	1.05	0.77	1.00	1.11
	生体機能調節医学専攻	募集人数	37人	37人	37人	37人	37人
志願者数	42人	52人	35人	47人	41人	43人	
受験者数	41人	52人	33人	47人	40人	43人	
合格者数	38人	50人	33人	47人	40人	42人	
辞退者数	2人	0人	0人	1人	1人	1人	
入学者数	36人	50人	33人	46人	39人	41人	
入学定員充足率	0.97	1.35	0.89	1.24	1.05	1.10	
地域疾病制御医学専攻	募集人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人
	志願者数	4人	7人	10人	5人	9人	7人
	受験者数	3人	7人	10人	5人	9人	7人
	合格者数	3人	7人	10人	4人	9人	7人
	辞退者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	3人	5人	10人	4人	9人	6人
	入学定員充足率	0.21	0.36	0.71	0.29	0.64	0.44
	口腔生命科学専攻	募集人数	28人	28人	28人	28人	28人
志願者数		36人	33人	28人	31人	32人	32人
受験者数		36人	33人	27人	31人	32人	32人
合格者数		36人	33人	27人	31人	32人	32人
辞退者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人
入学者数		35人	32人	27人	31人	32人	31人
入学定員充足率		1.25	1.14	0.96	1.11	1.14	1.12
合計		募集人数	101人	101人	101人	101人	101人
	志願者数	110人	124人	97人	102人	104人	107人
	受験者数	108人	124人	94人	102人	103人	106人
	合格者数	105人	122人	93人	101人	103人	105人
	辞退者数	3人	3人	0人	3人	1人	2人
	入学者数	102人	119人	93人	98人	102人	103人
	入学定員充足率	1.01	1.18	0.92	0.97	1.01	1.02

【学部学生等対象】大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート

本アンケートは、博士前期課程(修士課程)への進学や関心について理解を深めることを目的としており、学部学生等(在学生)を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。

①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。

②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。

③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会で回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。

どうぞ、率直な回答をよろしくお願い致します。

※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

1. あなたの学年を選択してください。

（本調査は学部生等を対象にしたものです。）*

- 学部1年生
- 学部2年生
- 学部3年生
- 学部4年生
- その他（研究生等）

2. あなたの所属学部を教えてください。

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 創生学部
- 医学部
- 歯学部

3. あなたの所属している学位プログラムを選択してください。未定（決まっていない）の方は、そちらをお選びください。*

- 未定（決まっていない）
- 心理・人間学プログラム
- 社会文化学プログラム
- 言語文化学プログラム
- 学校教員養成プログラム
- 法学プログラム
- 法曹養成プログラム
- 経済学プログラム
- 経営学プログラム
- 学際日本学プログラム
- 地域リーダープログラム
- 数学プログラム
- 物理学プログラム
- 化学プログラム
- 生物学プログラム
- 地質科学プログラム
- 自然環境科学プログラム
- フィールド科学人材育成プログラム（理学部）
- 機械システム工学プログラム
- 社会基盤工学プログラム
- 電子情報通信プログラム
- 知能情報システムプログラム
- 化学システム工学プログラム
- 材料科学プログラム
- 建築学プログラム
- 人間支援感性科学プログラム
- 協創経営プログラム
- 応用生命科学プログラム
- 食品科学プログラム

- 生物資源科学プログラム
- 流域環境学プログラム
- フィールド科学人材育成プログラム（農学部）
- 創生学修プログラム
- 医学プログラム
- 看護学プログラム
- 放射線技術科学プログラム
- 検査技術科学プログラム
- 歯学教育プログラム
- 口腔保健福祉学教育プログラム

4. あなたの性別を選択してください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

5. 卒業後の進路を現時点でどのように考えていますか。
以下の項目からあてはまるものを1つ選択してください。*

- 大学院への進学
- 大学院進学について悩んでいる
- 就職
- その他（留学、起業等）
- 現時点では未定

6. 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。（複数回答可）*

- 経済的理由
- 修了後の進路が不安
- 家族の反対
- その他

7. 大学院に進学する場合、以下のいずれの大学の大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。（複数回答可）

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院
- その他

8. いつ大学院に進学したいですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在、所属する学部に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科が開設された場合、受験を希望しますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 受験しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。*

- メディカルサイエンスプログラム
- 口腔保健福祉学プログラム
- 看護学プログラム
- 次世代医療技術科学プログラム

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。（複数回答）*

- 現在の学習内容に近いから
- 興味がある学習分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。
どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

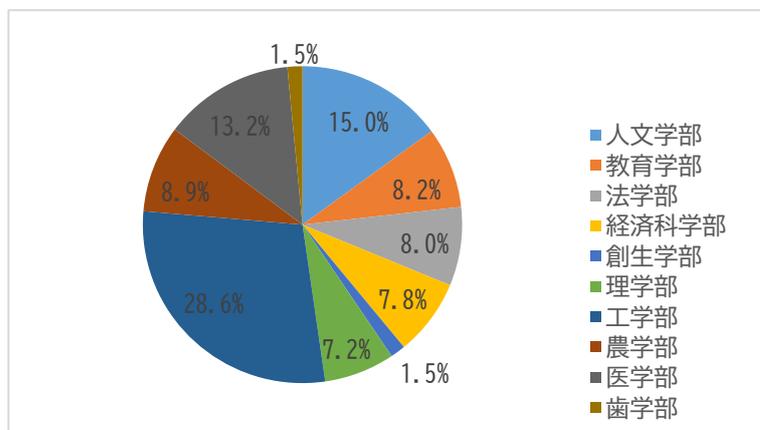
 Microsoft Forms

【在学生対象】大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート

【学部3年生】

(1) あなたの所属学部を教えてください。

	回答人数 (人)
人文学部	69
教育学部	38
法学部	37
経済科学部	36
創生学部	7
理学部	33
工学部	132
農学部	41
医学部	61
歯学部	7

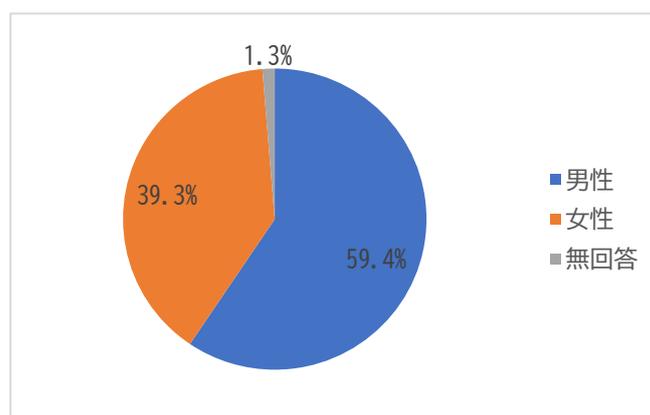


(2) あなたの所属している学位プログラムを選択してください。未定（決まっていない）の方は、そちらをお選びください。

(省略)

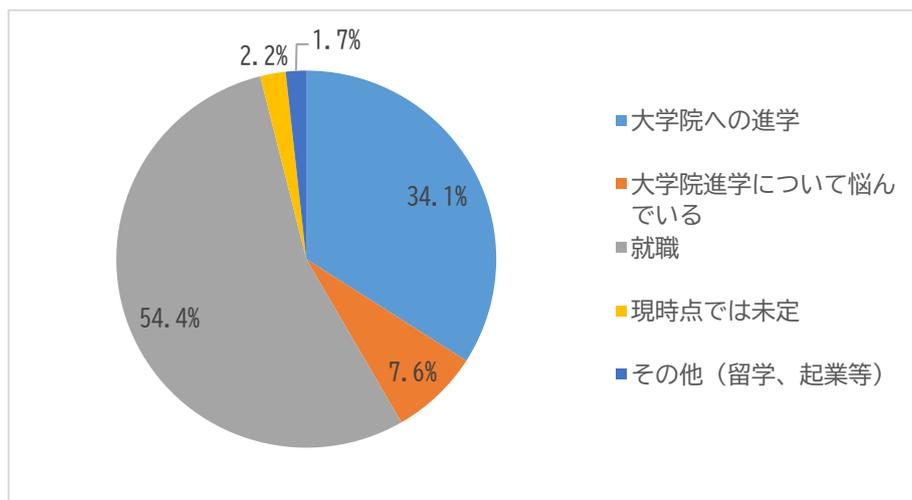
(3) あなたの性別を選択してください。

	回答人数 (人)
男性	274
女性	181
無回答	6



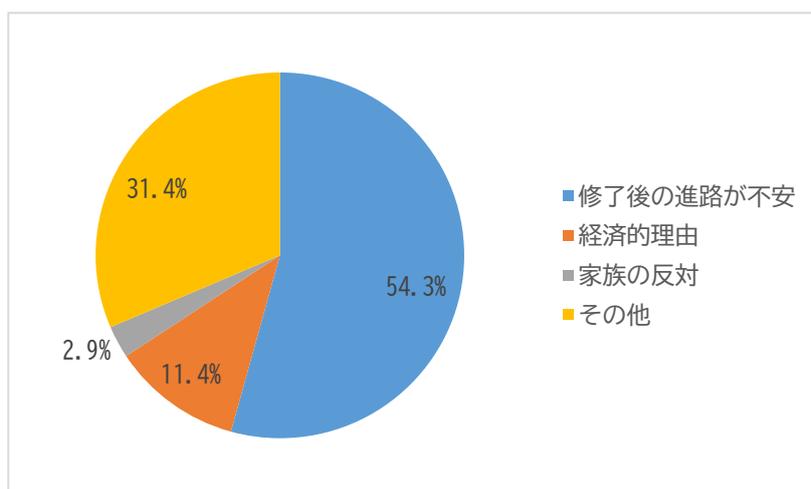
- (4) 卒業後の進路を現時点でどのように考えていますか。
以下の項目からあてはまるものを1つ選択してください。

	回答人数 (人)
大学院への進学	157
大学院進学について悩んでいる	35
就職	251
現時点では未定	10
その他 (留学、起業等)	8



- (5) 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。(複数回答可)
※(4)で「大学院進学について悩んでいる」と回答した者 (35人) のみが回答対象

	回答人数 (人)
修了後の進路が不安	19
経済的理由	4
家族の反対	1
その他	11

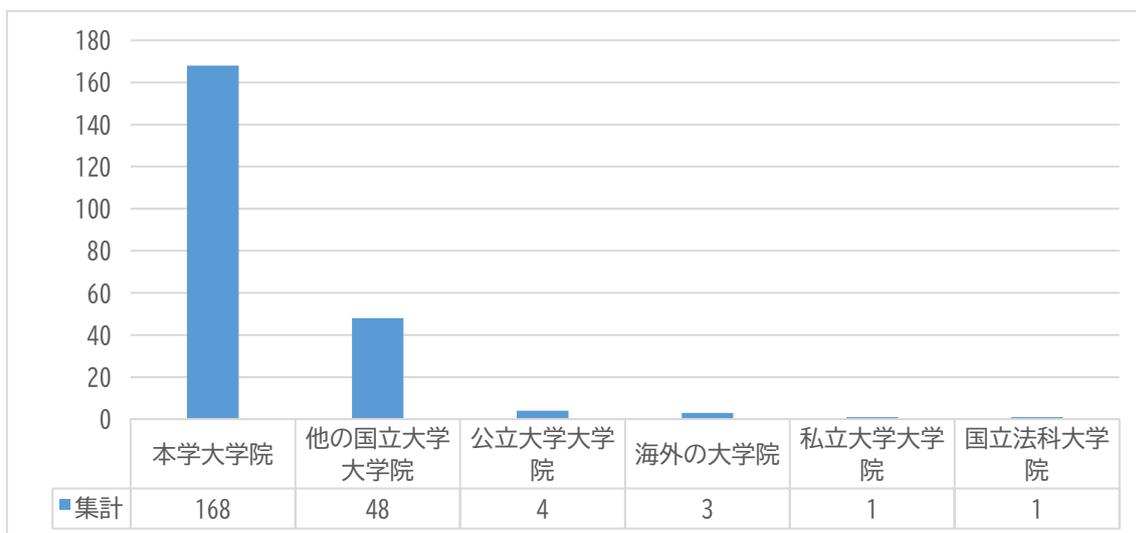


(6) 大学院に進学する場合、以下のいずれの大学の大学院に進みたいですか。

以下の項目から該当するものを全て選択してください。(複数回答可)

※ (4)で「大学院への進学」「大学院進学について悩んでいる」と回答した者(192人)のみが回答対象

	回答人数(人)
本学大学院	168
他の国立大学大学院	48
公立大学大学院	4
海外の大学院	3
私立大学大学院	1
国立法科大学院	1

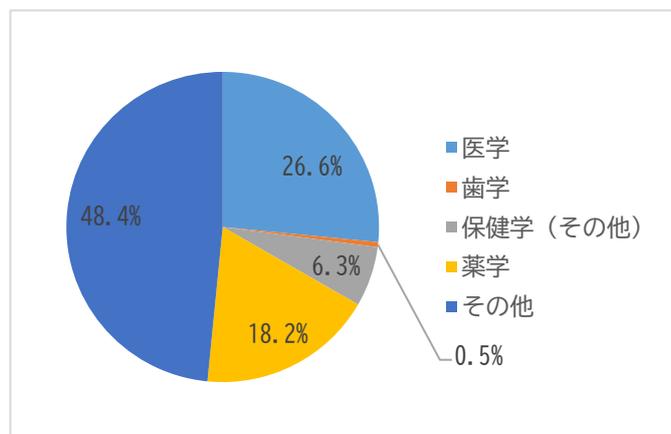


(7) 現在、所属する学部に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※ (4)で「大学院への進学」「大学院進学について悩んでいる」と回答した者(192人)のみが回答対象

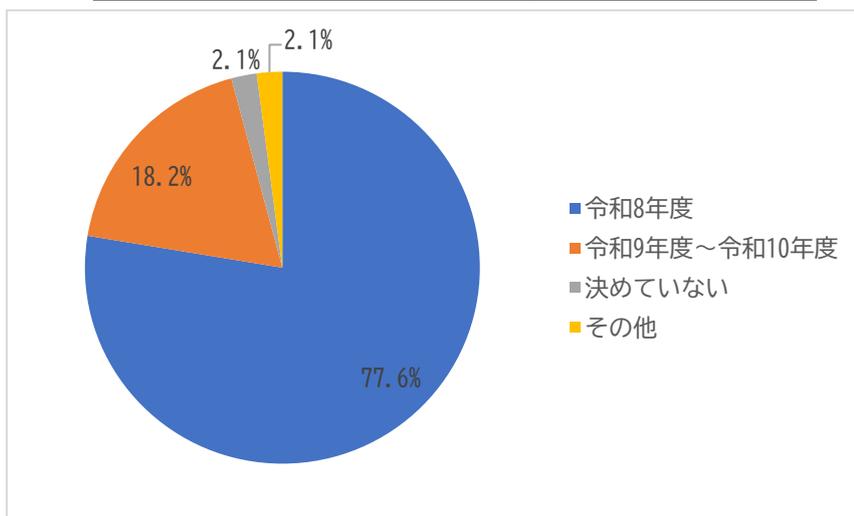
	回答人数(人)
医学	51
歯学	1
保健学(その他)	12
薬学	35
その他	93



(8) いつ大学院に進学したいですか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※ (4)で「大学院への進学」「大学院進学について悩んでいる」と回答した者(192人)のみが回答対象

	回答人数(人)
令和8年度	149
令和9年度～令和10年度	35
決めていない	4
その他	4

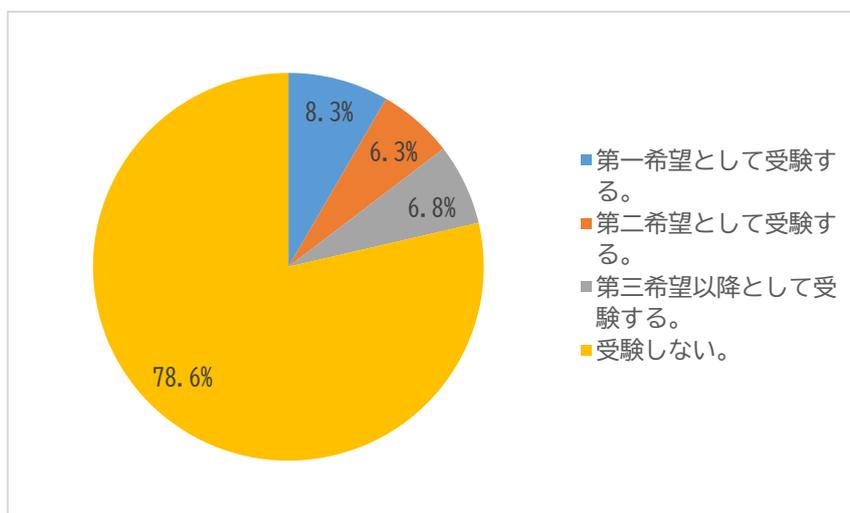


(9) 新潟大学大学院医歯保健学研究科が開設された場合、受験を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※ (4)で「大学院への進学」「大学院進学について悩んでいる」と回答した者(192人)のみが回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する	16
第二希望として受験する	12
第三希望以降として受験する	13
受験しない	151

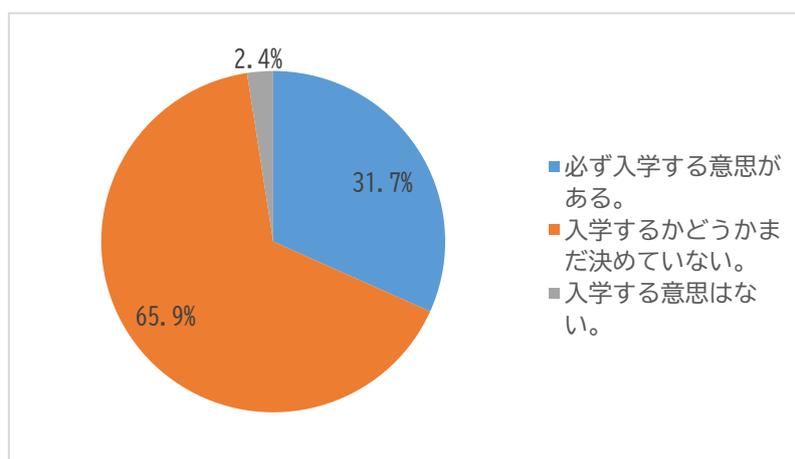


(10) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※ (9)で「受験しない」と回答した者は回答対象外

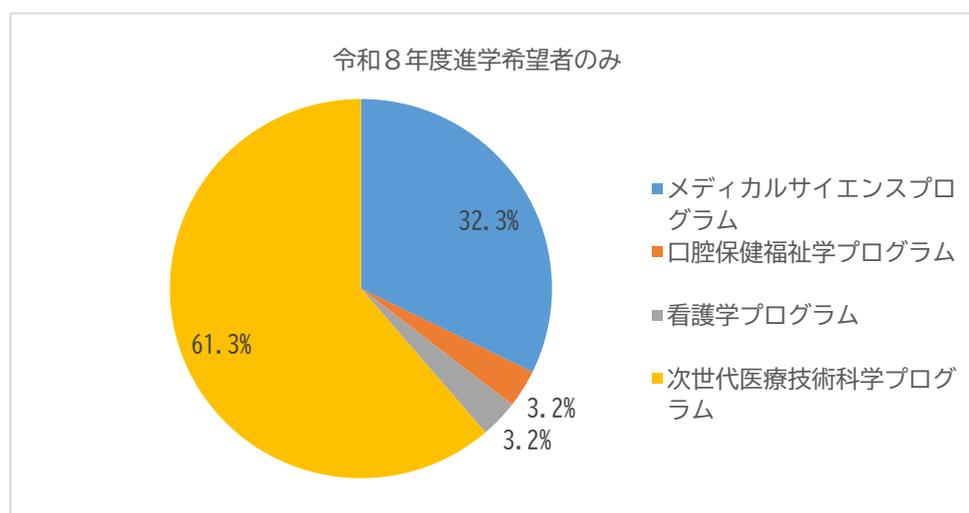
	回答人数 (人)
必ず入学する意思がある。	13
入学するかどうかまだ決めていない。	27
入学する意思はない。	1



(11) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

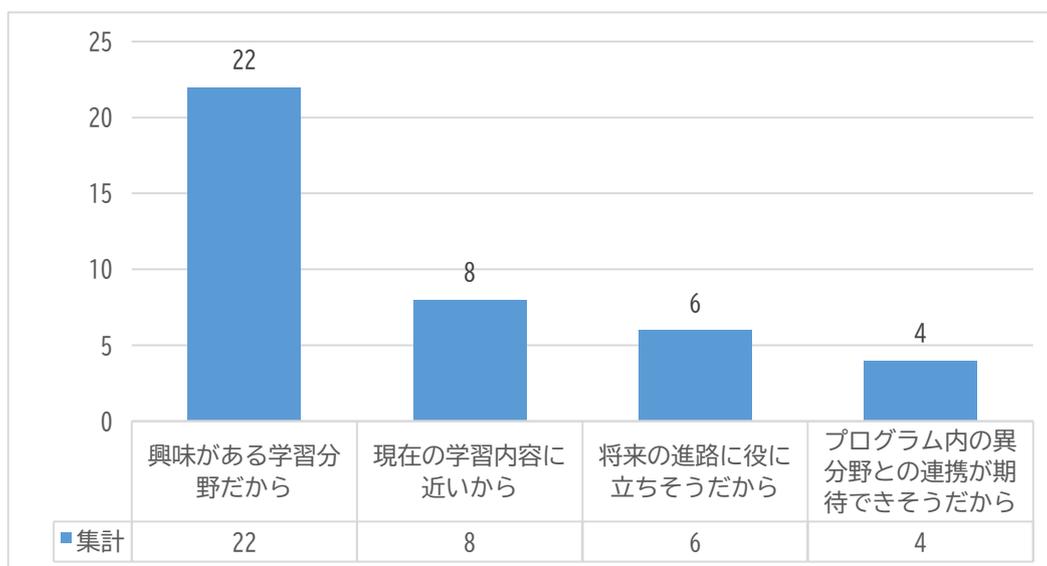
※ (9)で「受験しない」または(10)で「入学する意思はない」と回答した者は回答対象外
また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数 (人)		目安人数 (人)
	令和8年度	令和9年度～ 令和10年度	
メディカルサイエンスプログラム	10	5	14
口腔保健福祉学プログラム	1	1	6
看護学プログラム	1	0	10
次世代医療技術科学プログラム	19	3	10



(12) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数(人)
興味がある学習分野だから	22
現在の学習内容に近いから	8
将来の進路に役に立ちそうだから	6
プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから	4



【社会人対象】大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート



本アンケートは、博士前期課程への進学や関心について理解を深めることを目的としており、社会人を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。

①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。

②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。

③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会で回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。

※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

1. あなたの年齢を選択してください。*

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳以上

2. あなたの性別を教えてください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

3. 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 短大
- 専門学校
- 高専
- 大学（学部）
- 大学院（修士課程）
- 大学院（博士課程）
- その他

4. 現在の職業等について教えてください。
以下の項目からあてはまるものを1つ選択してください。*

- 農業・林業
- 水産業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く）
- 分類不能の産業
- 自営業
- 専業主婦（主夫）
- 働いていない

5. 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- ぜひ入学したい
- 入学してみたいが悩んでいる
- 興味がない
- その他

6. 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。（複数回答可）*

- 経済的理由
- 仕事との両立 時間や体力
- 職場で同意を得られない
- 興味はあるが、学力に不安がある
- 介護を抱えている
- 育児している
- （介護・育児以外に）家族の反対
- その他

7. 博士前期課程に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院海外の大学院
- その他

8. いつ大学院に進学したいですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科（博士前期課程）が設置された場合、進学（受験）を希望しますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 進学（受験）しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。*

- メディカルサイエンスプログラム（博士前期課程）
- 口腔保健福祉学プログラム（博士前期課程）
- 看護学プログラム（博士前期課程）
- 次世代医療技術科学プログラム（博士前期課程）

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。（複数回答）*

- 現在の学習内容に近いから
- 興味がある学習分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 博士後期課程までの進学を考えていますか*

- 進学したい
- 進学を検討している
- 進学は考えていない

15. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。
どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

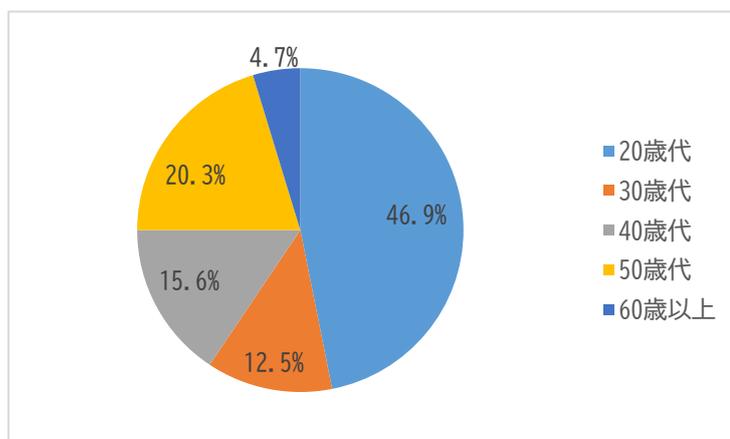
 Microsoft Forms

【社会人対象】大学院博士前期課程（新設）に関するアンケート

【社会人】

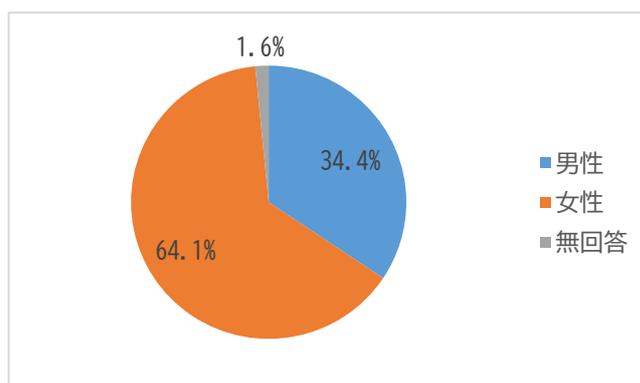
(1) あなたの年齢を選択してください。

	回答人数 (人)
20 歳代	30
30 歳代	8
40 歳代	10
50 歳代	13
60 歳以上	3



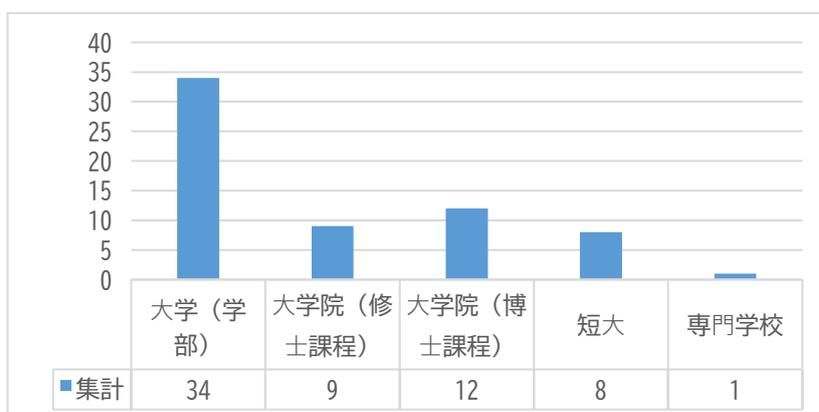
(2) あなたの性別を選択してください。

	回答人数 (人)
男性	22
女性	41
無回答	1



(3) 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

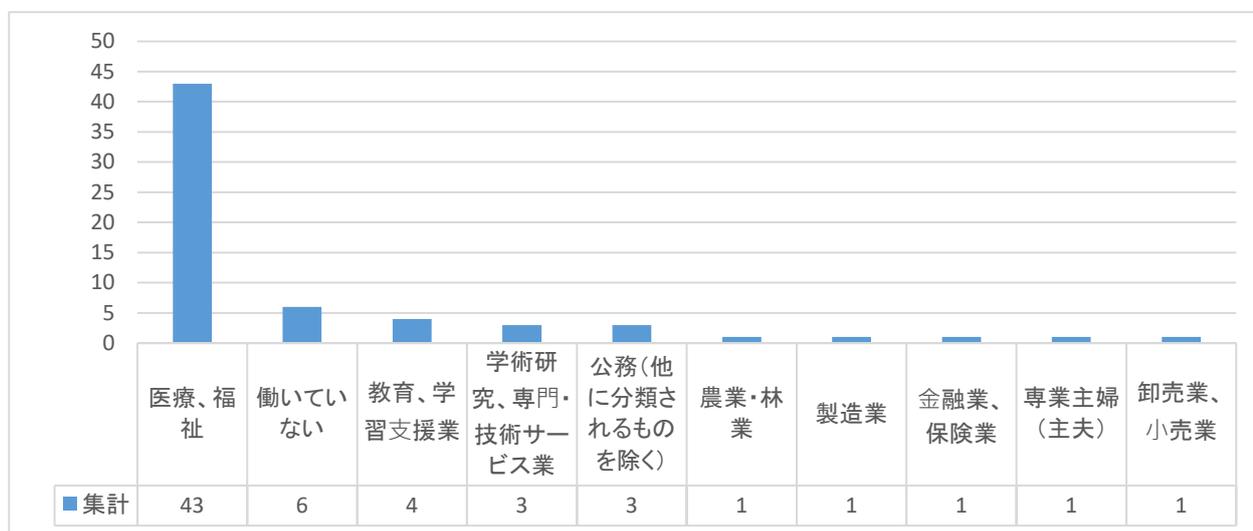
	回答人数 (人)
大学 (学部)	34
大学院 (修士課程)	9
大学院 (博士課程)	12
短大	8
専門学校	1



(4) 現在の職業等について教えてください。

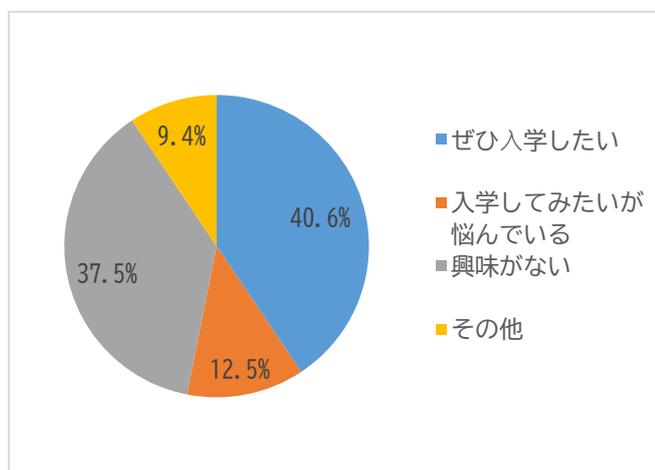
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数 (人)
医療、福祉	43
働いていない 卸売業、小売業	6
教育、学習支援業	4
学術研究、専門・技術サービス業	3
公務（他に分類されるものを除く）	3
農業・林業	1
製造業	1
金融業、保険業	1
専業主婦（主夫）	1
卸売業、小売業	1



(5) 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数 (人)
ぜひ入学したい	26
入学してみたいが悩んでいる	8
興味がない	24
その他	6

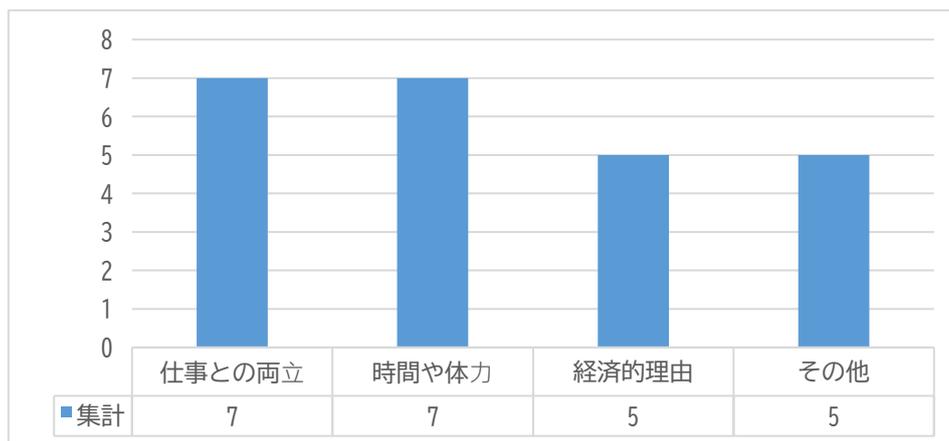


(6) 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。

以下の項目から該当するものを全て選択してください。(複数回答可)

※(5)で「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(8人)のみが回答対象

	回答人数(人)
仕事との両立	7
時間や体力	7
経済的理由	5
その他	5

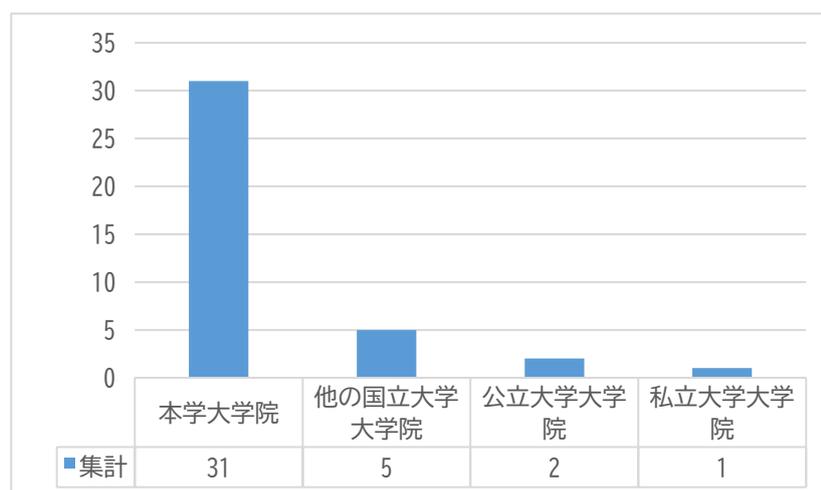


(7) 博士課程に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。

以下の項目から該当するものを全て選択してください(複数回答可)

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(34人)のみが回答対象

	回答人数(人)
本学大学院	31
他の国立大学大学院	5
公立大学大学院	2
私立大学大学院	1

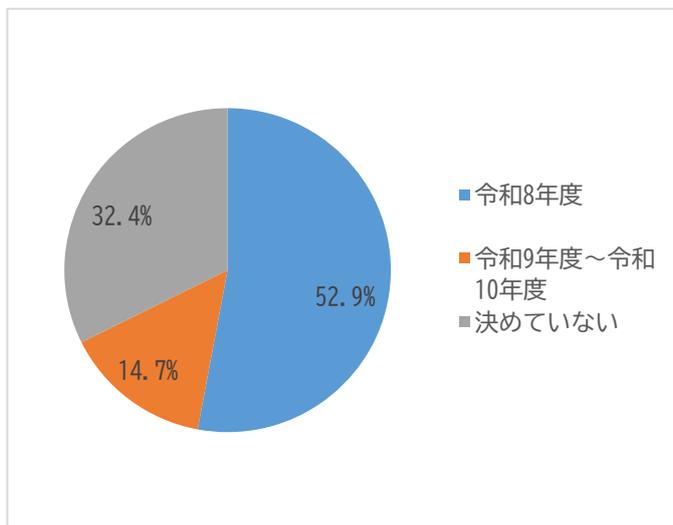


(8) いつ大学院に進学したいですか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(34人)のみが回答対象

	回答人数 (人)
令和8年度	18
令和9年度～令和10年度	5
決めていない	11

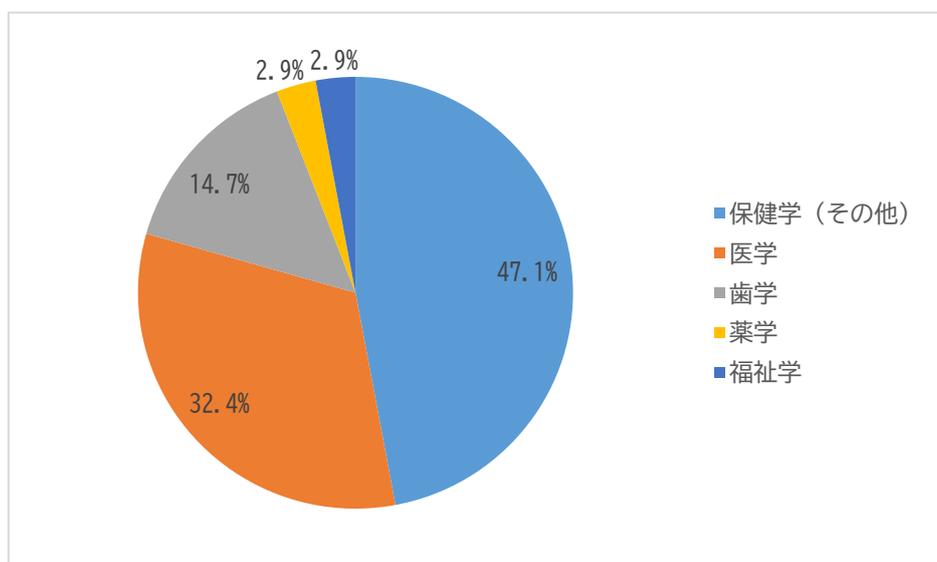


(9) 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(34人)のみが回答対象

	回答人数 (人)
保健学 (その他)	16
医学	11
歯学	5
薬学	1
福祉学	1

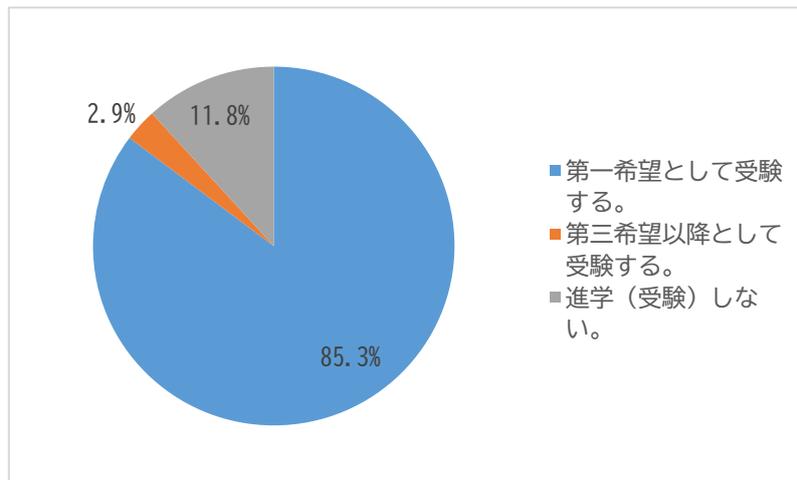


(10) 新潟大学大学院医歯保健学研究科が開設された場合、受験を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(34人)のみが回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する。	29
第二希望として受験する。	0
第三希望以降として受験する。	1
進学(受験しない)。	4

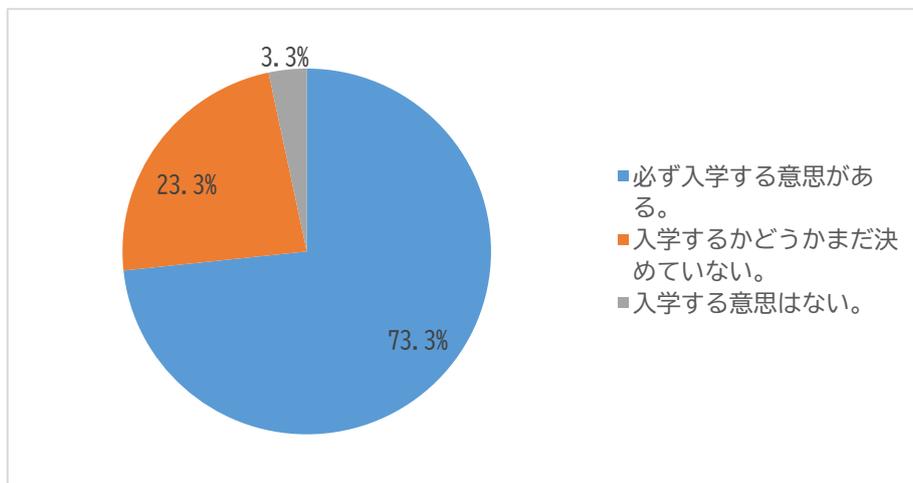


(11) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(10)で「進学(受験)しない」と回答した者は回答対象外

	回答人数(人)
必ず入学する意思がある。	22
入学するかどうかまだ決めていない。	7
入学する意思はない。	1



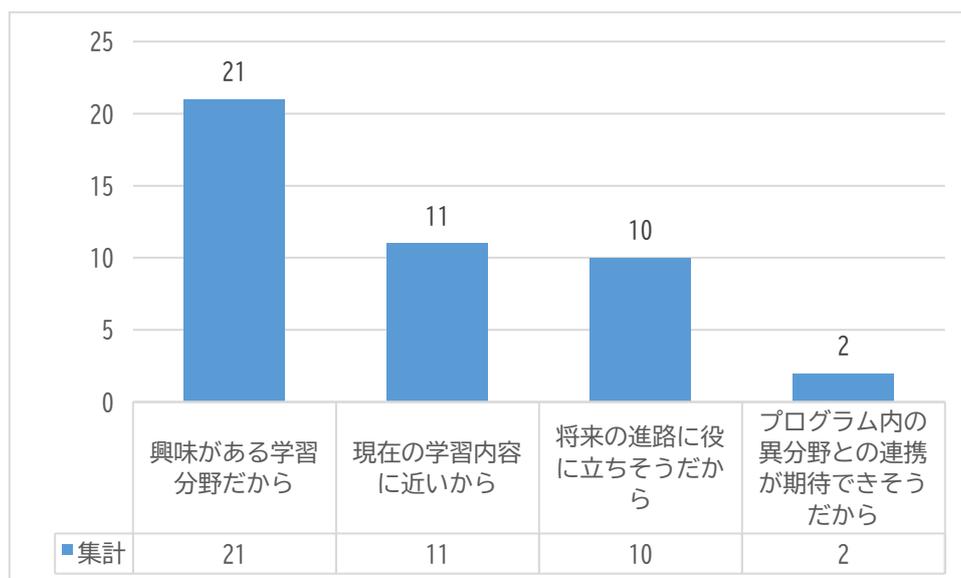
(12) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

※ (10)で「受験しない」または(11)で「入学する意思はない」と回答した者は回答対象外
また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数 (人)			目安人数 (人)
	令和8年度	令和9年度～ 令和10年度	決めていない	
メディカルサイエンスプログラム (博士前期課程)	3	2	0	14
口腔保健福祉学プログラム (博士前期課程)	9	1	1	6
看護学プログラム (博士前期課程)	1	0	2	10
次世代医療技術科学プログラム (博士前期課程)	5	0	5	10

(13) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数 (人)
興味がある学習分野だから	21
現在の学習内容に近いから	11
将来の進路に役に立ちそうだから	10
プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから	2



【博士前期課程（修士課程）学生対象】大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート

本アンケートは、博士後期課程への進学や関心について理解を深めることを目的としており、修士課程在学生在を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。

①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。

②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。

③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会で回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。

どうぞ、率直な回答をよろしくお願い致します。

※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

※必須

1. あなたの学年を選択してください。

（本調査は修士課程1、2年生等を対象にしたものです。）*

- 1年生（M1）
- 2年生（M2）
- その他（研究生、科目等履修生他）

2. あなたの所属研究科を選択してください。*

- 医歯学総合研究科
- 保健学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- その他

3. あなたの所属している専攻を教えてください。*

- 医科学専攻
- 口腔生命福祉学専攻
- 保健学専攻
- 現代文化専攻
- 社会文化専攻
- 経済経営専攻
- 数理物質科学専攻
- 材料生産システム専攻
- 電気情報工学専攻
- 生命・食料科学専攻
- 環境科学専攻
- その他

4. あなたの性別を選択してください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

5. 修士課程（博士前期課程）修了後の進路を現時点でどのようにお考えですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 博士後期課程への進学
- 博士後期課程への進学を悩んでいる
- 就職する
- その他（留学、起業等）
- 現時点では未定

6. 博士後期課程（3年課程）進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 経済的理由
- 修了後の進路が不安
- 家族の反対
- その他

7. 博士後期課程（3年課程）に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院/海外の大学院
- その他

8. いつ博士後期課程（3年課程）に進学したいですか。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科（博士後期課程）が設置された場合、進学（受験）を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 進学（受験）しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。*

- 口腔福祉保健学プログラム（博士後期課程）
- 看護学プログラム（博士後期課程）
- 次世代医療技術科学プログラム（博士後期課程）

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。（複数回答）*

- 現在の研究内容に近いから
- 高度な研究ができそうだから
- 興味がある研究分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。

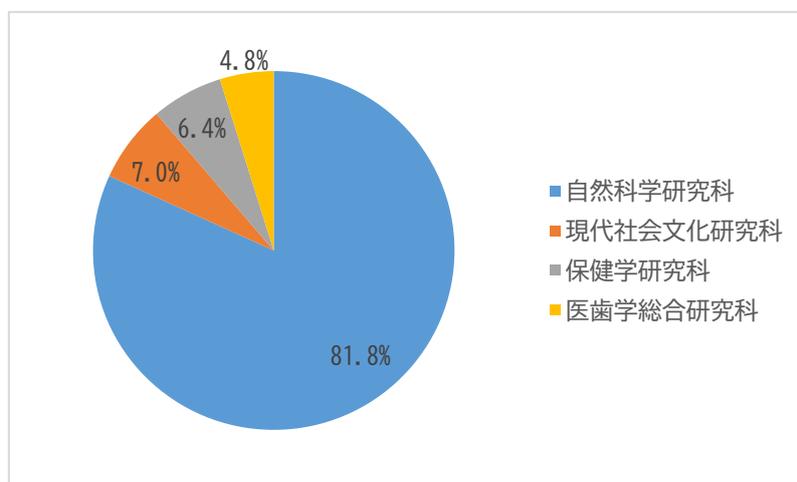
どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

【博士前期（修士課程）学生対象】大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート

【博士前期課程・修士課程1年生】

(1) あなたの所属研究科を選択してください。

	回答人数（人）
自然科学研究科	153
現代社会文化研究科	13
保健学研究科	12
医歯学総合研究科	9

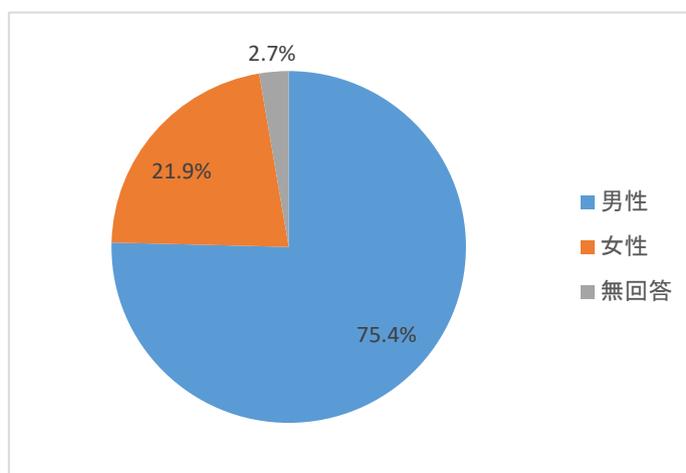


(2) あなたの所属している専攻を教えてください。

(省略)

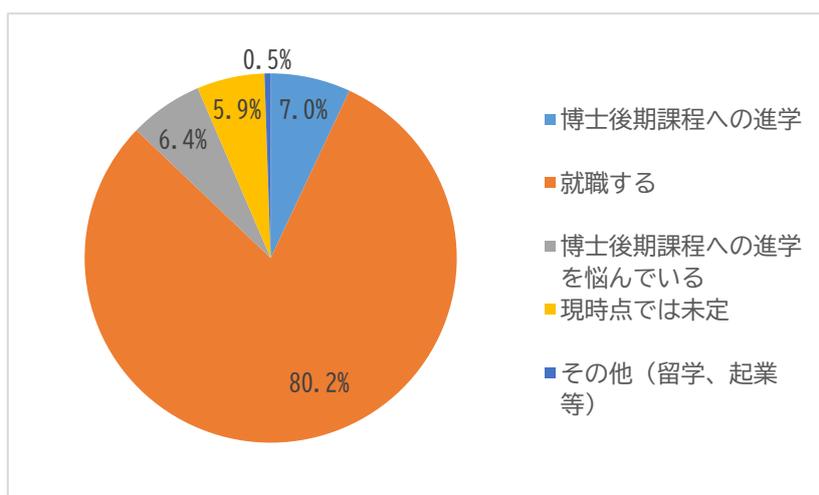
(3) あなたの性別を選択してください。

	回答人数（人）
男性	141
女性	41
無回答	5



(4) 修士課程（博士前期課程）修了後の進路を現時点でどのようにお考えですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数（人）
博士後期課程への進学	13
就職する	150
博士後期課程への進学を悩んでいる	12
現時点では未定	11
その他（留学、起業等）	1

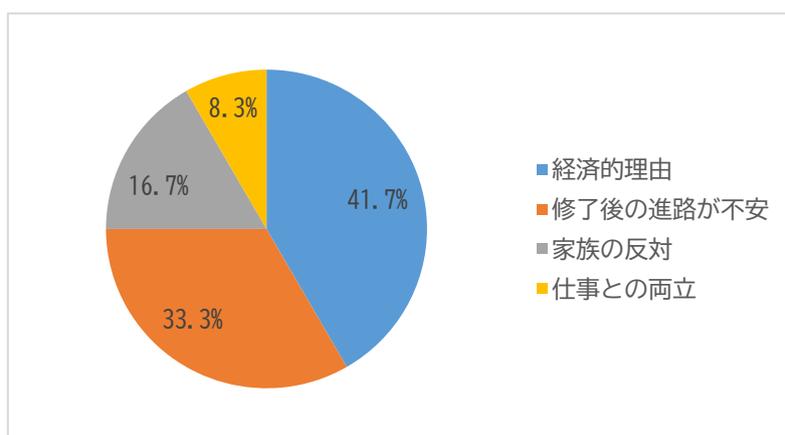


(5) 博士後期課程（3年課程）進学を悩んでいる理由を教えてください。

以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。

※(4)で「博士後期課程への進学を悩んでいる」と回答した(12人)のみが回答対象

	回答人数（人）
経済的理由	5
修了後の進路が不安	4
家族の反対	2
仕事との両立	1

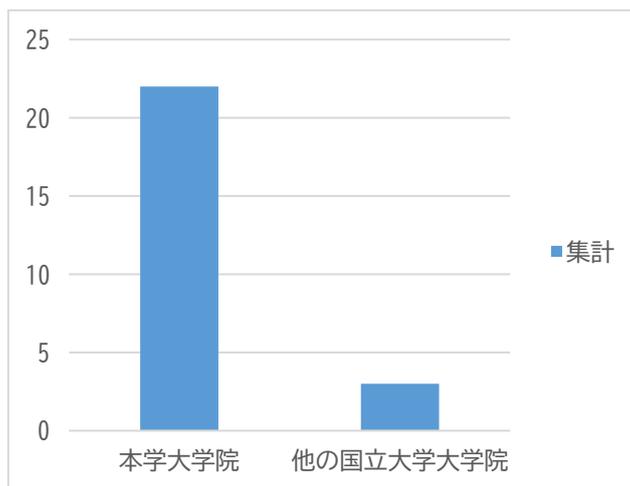


(6) 博士後期課程（3年課程）に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。

以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。

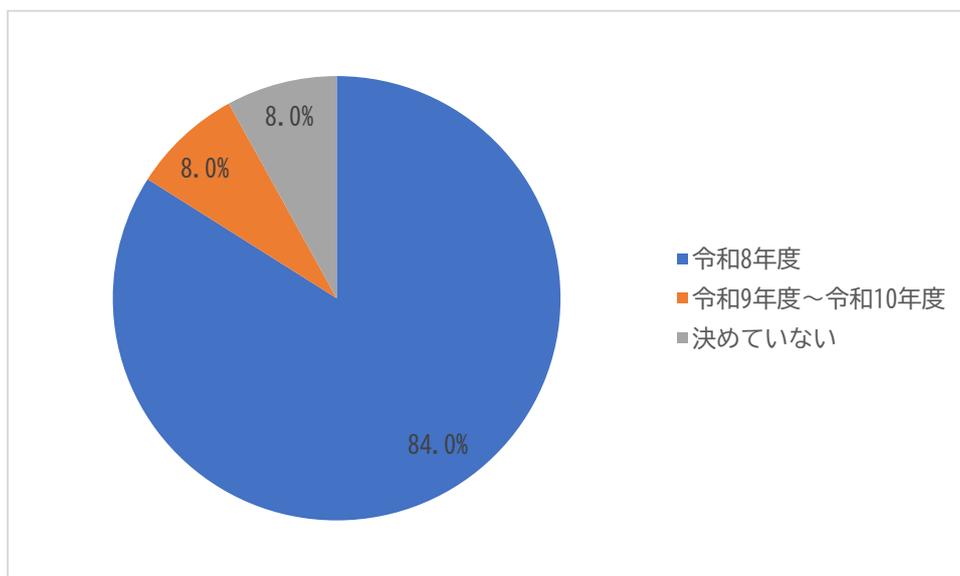
※ (4)で「博士後期課程への進学」「博士後期課程への進学について悩んでいる」と回答した者（25人）のみが回答対象

	回答人数（人）
本学大学院	22
他の国立大学大学院	3



(7) いつ大学院に進学したいですか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数（人）
令和8年度	21
令和9年度～令和10年度	2
決めていない	2



(8) 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

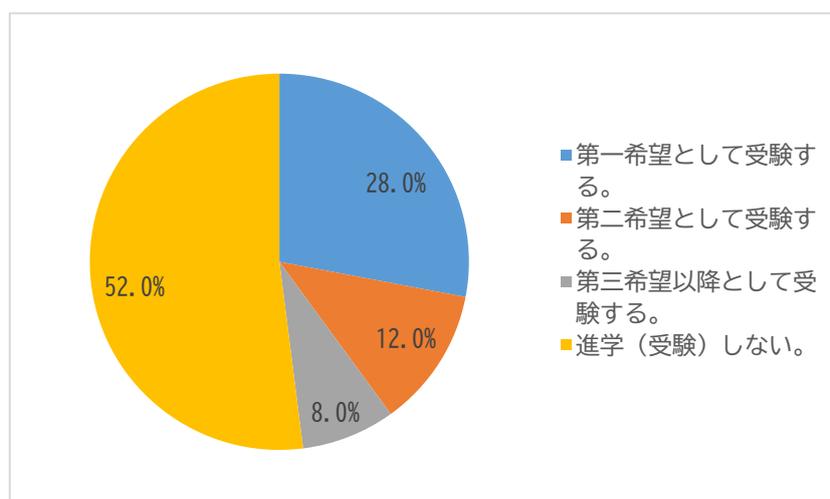
※(4)で「博士後期課程への進学」または「博士後期課程への進学について悩んでいる」と回答した者(25人)が回答対象

	回答人数(人)
医学	10
保健学(その他)	6
薬学	3
歯学	2
農学	1
情報工学	1
心理学	1
なし	1

(9) 新潟大学大学院医歯保健学研究科(博士後期課程)が設置された場合、進学(受験)を希望しますか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(4)で「博士後期課程への進学」または「博士後期課程への進学について悩んでいる」と回答した者(25人)が回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する	7
第二希望として受験する	3
第三希望として受験する	2
進学(受験)しない	13

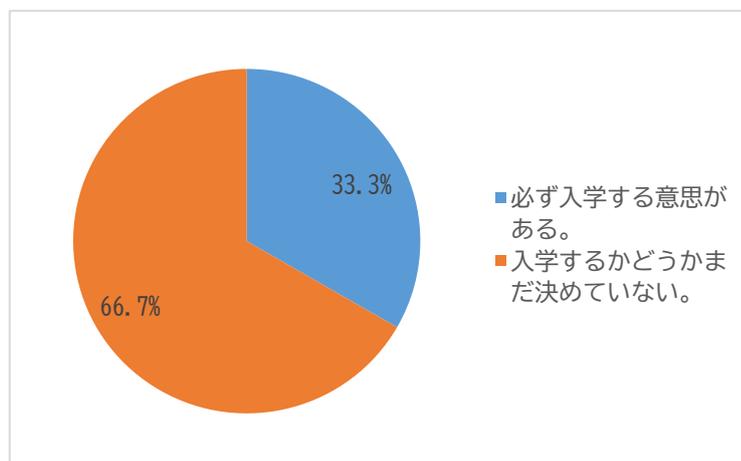


(10) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※ (9)で「受験しない」と回答した者は回答対象外

	回答人数 (人)
必ず入学する意思がある。	4
入学するかどうかまだ決めていない。	8



(11) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

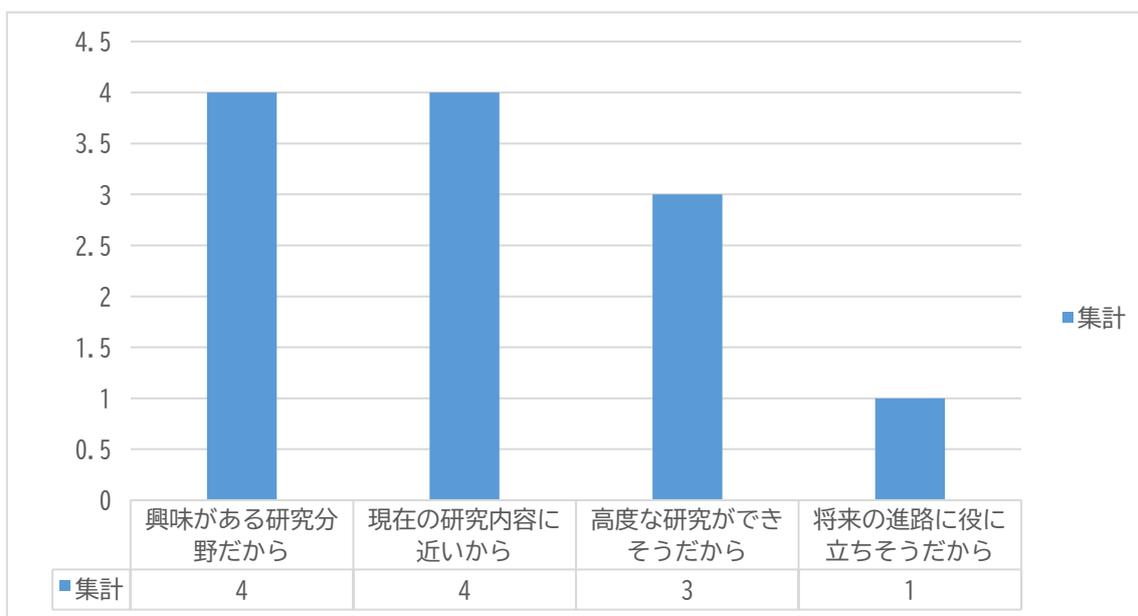
※ (9)で「受験しない」と回答した者は回答対象外

また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数 (人)			目安人数 (人)
	令和 8 年度	令和 9 年度～ 令和 10 年度	決めていない	
口腔福祉保健学プログラム (博士後期課程)	2	0	0	3
看護学プログラム (博士後期課程)	2	1	0	3
次世代医療技術科学プログラム (博士後期課程)	4	1	2	4

(12) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数(人)
興味がある研究分野だから	4
現在の研究内容に近いから	4
高度な研究ができそうだから	3
将来の進路に役に立ちそうだから	1



【社会人対象】大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート



本アンケートは、博士後期課程への進学や関心について理解を深めることを目的としており、社会人を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。

②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。

③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会で回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。

※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

1. あなたの年齢を選択してください。*

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳以上

2. あなたの性別を教えてください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

3. 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 短大
- 専門学校
- 高専
- 大学（学部）
- 大学院（修士課程）
- 大学院（博士課程）
- その他

4. 現在の職業等について教えてください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 農業・林業
- 水産業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く）
- 分類不能の産業
- 自営業
- 専業主婦（主夫）
- 働いていない

5. 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- ぜひ入学したい
- 入学してみたいが悩んでいる
- 興味がない
- その他

6. 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。（複数回答可）*

- 経済的理由
- 修了後の進路が不安
- 家族の反対
- その他

7. 博士後期課程（3年課程）に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院海外の大学院
- その他

8. いつ大学院に進学したいですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科（博士後期課程）が設置された場合、進学（受験）を希望しますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 進学（受験）しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。*

- 口腔福祉保健学プログラム（博士後期課程）
- 看護学プログラム（博士後期課程）
- 次世代医療技術科学プログラム（博士後期課程）

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答) *

- 現在の研究内容に近いから
- 高度な研究ができそうだから
- 興味がある研究分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。
どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

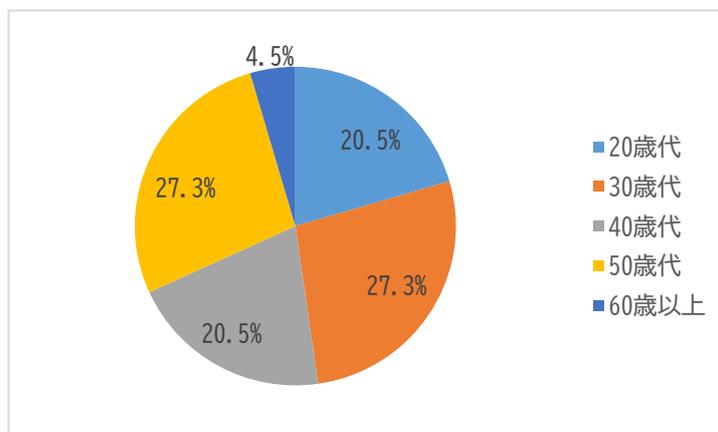
 Microsoft Forms

【社会人対象】大学院博士後期課程（新設）に関するアンケート

【社会人】

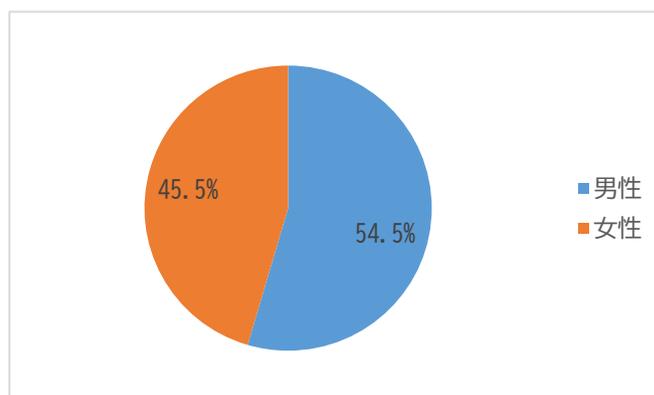
(1) あなたの年齢を選択してください。

	回答人数 (人)
20 歳代	9
30 歳代	12
40 歳代	9
50 歳代	12
60 歳以上	2



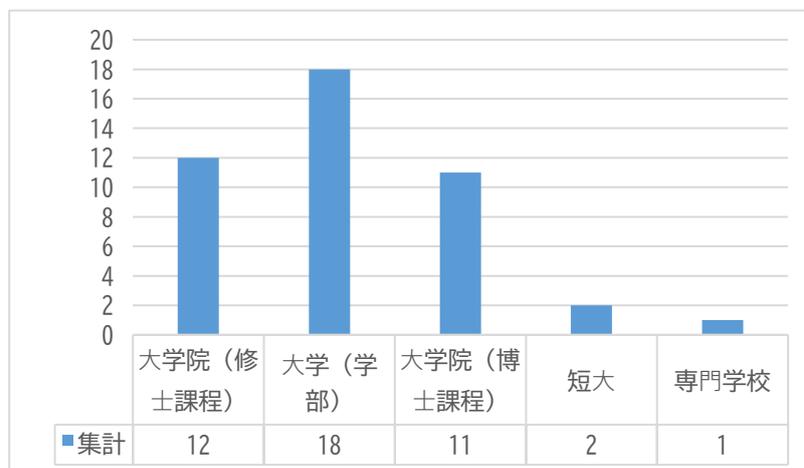
(2) あなたの性別を選択してください。

	回答人数 (人)
男性	24
女性	20



(3) 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

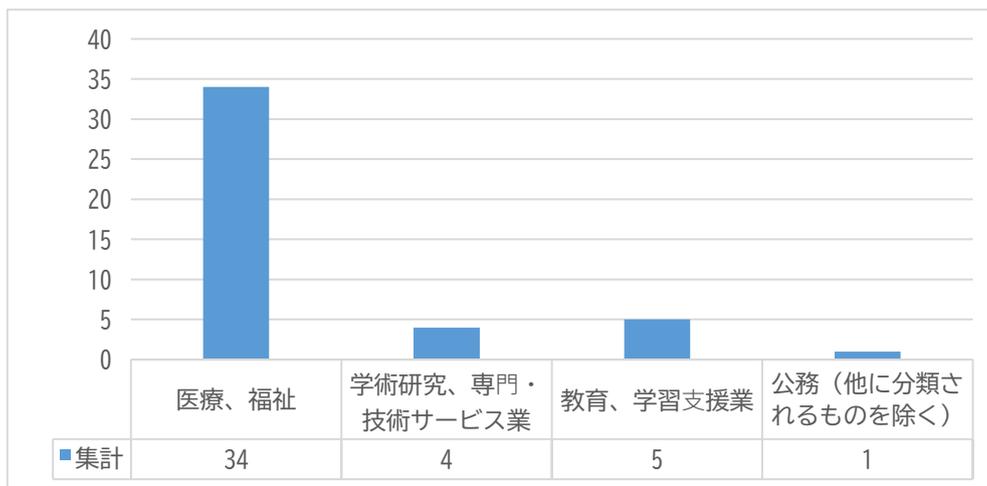
	回答人数 (人)
大学院（修士課程）	12
大学（学部）	18
大学院（博士課程）	11
短大	2
専門学校	1



(4) 現在の職業等について教えてください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

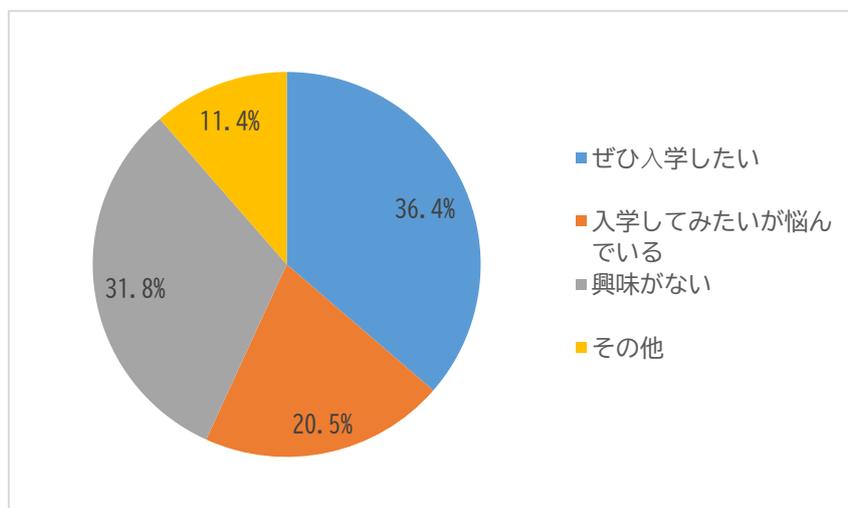
	回答人数 (人)
医療、福祉	34
学術研究、専門・技術サービス業	4
教育、学習支援業	5
公務（他に分類されるものを除く）	1



(5) 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

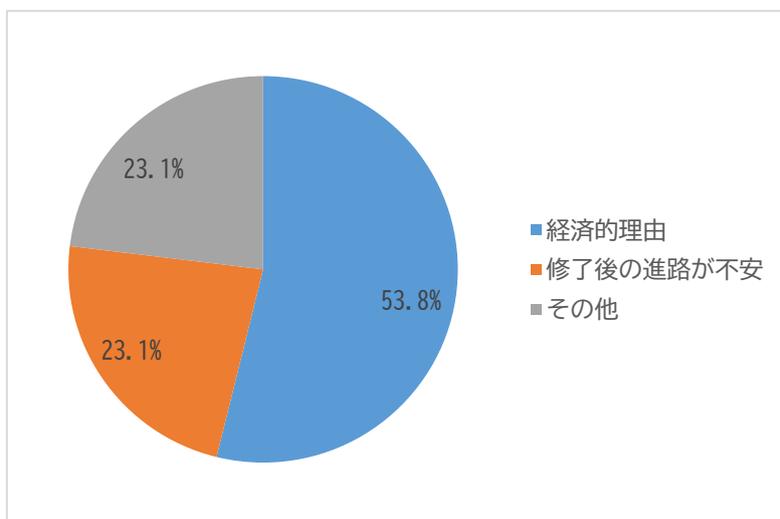
	回答人数 (人)
ぜひ入学したい	16
入学してみたいが悩んでいる	9
興味がない	14
その他	5



(6) 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。

以下の項目から該当するものを全て選択してください。(複数回答可)

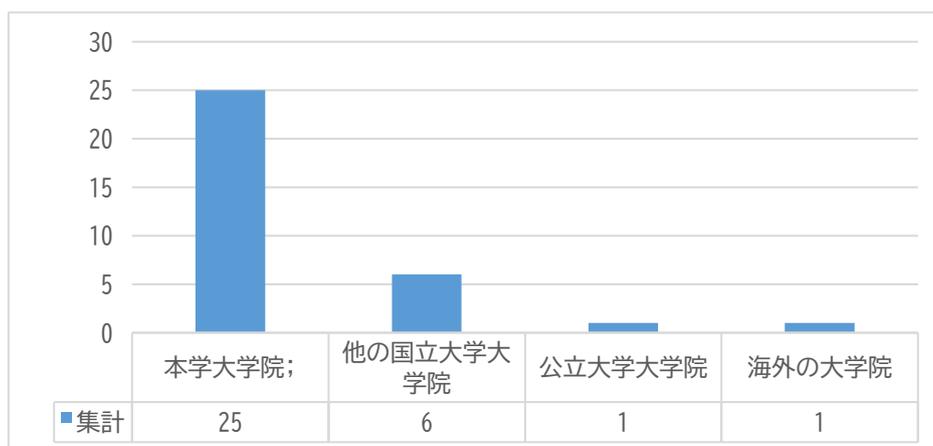
	回答人数(人)
経済的理由	7
修了後の進路が不安	3
その他	3



(7) 博士課程に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。

以下の項目から該当するものを全て選択してください(複数回答可)

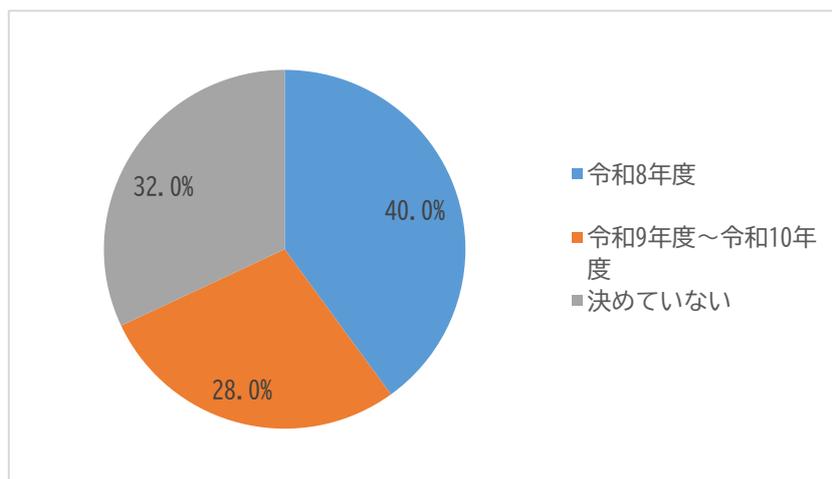
	回答人数(人)
本学大学院	25
他の国立大学大学院	6
公立大学大学院	1
海外の大学院	1



(8) いつ大学院に進学したいですか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

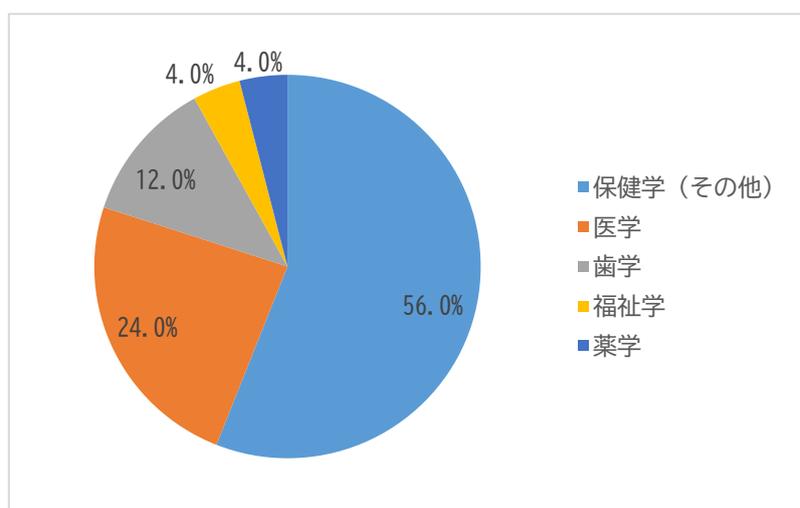
	回答人数 (人)
令和8年度	10
令和9年度～令和10年度	7
決めていない	8



(9) 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数 (人)
保健学 (その他)	14
医学	6
歯学	3
薬学	1
福祉学	1

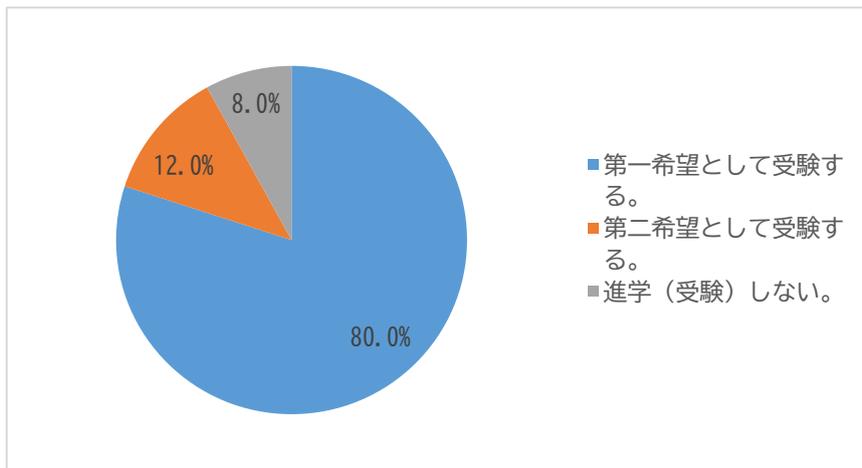


(10) 新潟大学大学院医歯保健学研究科が開設された場合、受験を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(25人)のみが回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する。	20
第二希望として受験する。	3
第三希望以降として受験する。	0
進学(受験しない)。	2

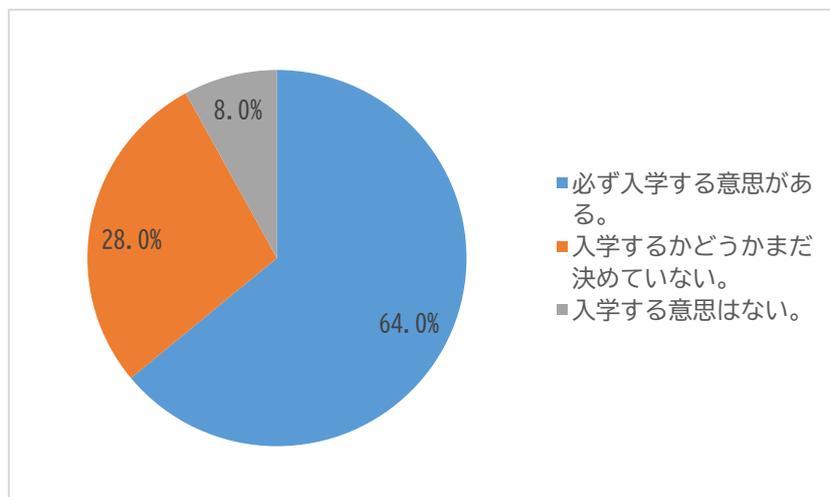


(11) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(25人)のみが回答対象

	回答人数(人)
必ず入学する意思がある。	16
入学するかどうかまだ決めていない。	7
入学する意思はない。	2



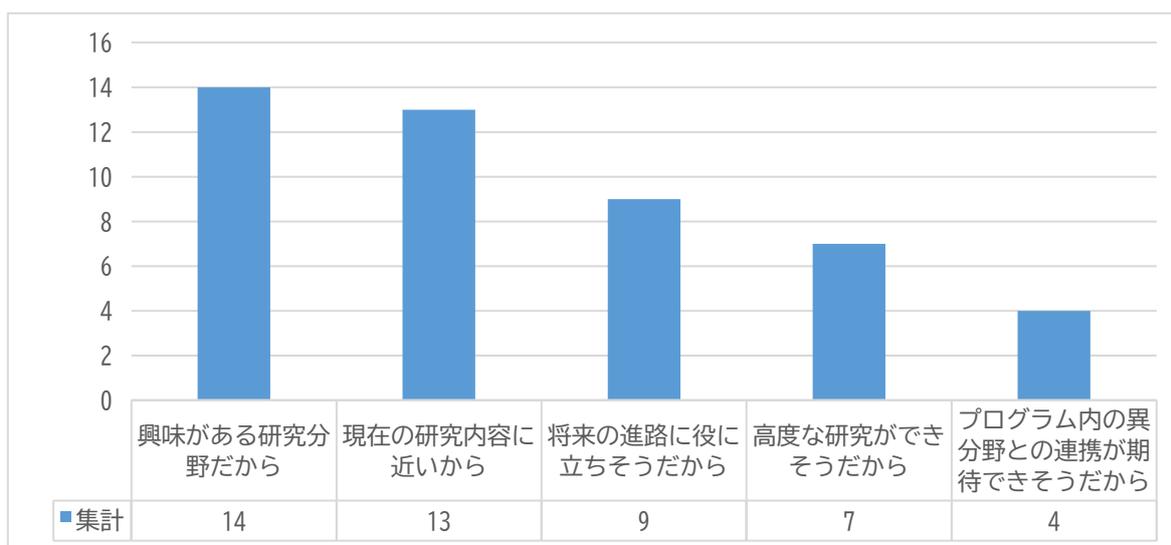
(12) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

※ (10)で「受験しない」、(11)で「入学する意思はない」と回答した者は回答対象外
また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数 (人)			目安人数 (人)
	令和8年度	令和9年度～ 令和10年度	決めていない	
口腔福祉保健学プログラム (博士後期課程)	4	2	1	3
看護学プログラム (博士後期課程)	2	2	2	3
次世代医療技術科学プログラム (博士後期課程)	4	2	4	4

(13) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数 (人)
興味がある研究分野だから	14
現在の研究内容に近いから	13
将来の進路に役に立ちそうだから	9
高度な研究ができそうだから	7
プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから	4



【博士前期（修士課程）学生対象】大学院博士課程（新設）に関するアンケート

本アンケートは、博士課程への進学や関心について理解を深めることを目的としており、修士課程在学学生を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。

①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。

②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。

③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会でも回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。

どうぞ、率直な回答をよろしくお願い致します。

※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

1. あなたの学年を選択してください。

（本調査は修士課程(博士前期課程)の1、2年生等を対象にしたものです。）*

- 1年生（M1）
- 2年生（M2）
- その他（研究生、科目等履修生他）

2. あなたの所属研究科を選択してください。*

- 医歯学総合研究科
- 保健学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- その他

3. あなたの所属している専攻を教えてください。*

- 医科学専攻
- 口腔生命福祉学専攻
- 保健学専攻
- 現代文化専攻
- 社会文化専攻
- 経済経営専攻
- 数理物質科学専攻
- 材料生産システム専攻
- 電気情報工学専攻
- 生命・食料科学専攻
- 環境科学専攻
- その他

4. あなたの性別を選択してください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

5. 修士課程（博士前期課程）修了後の進路を現時点でどのようにお考えですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 博士課程への進学
- 博士課程への進学を悩んでいる
- 就職
- その他（留学、起業等）
- 現時点では未定

6. 博士課程（4年）進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 経済的理由
- 修了後の進路が不安
- 家族の反対
- その他

7. 博士課程（4年）に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院/海外の大学院

8. いつ博士課程（4年）に進学したいですか。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科（博士課程）が設置された場合、進学（受験）を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 進学（受験）しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

医学プログラムは3つあるコースのうち、1つのコースを選択してください。*

- 医学プログラム・グローバル医療研究コース(仮称)
- 医学プログラム・精密医学研究コース(仮称)
- 医学プログラム・脳とこころの医学研究コース(仮称)
- 歯学プログラム

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。（複数回答）

*

- 現在の学習内容に近いから
- 興味がある学習分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。

どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

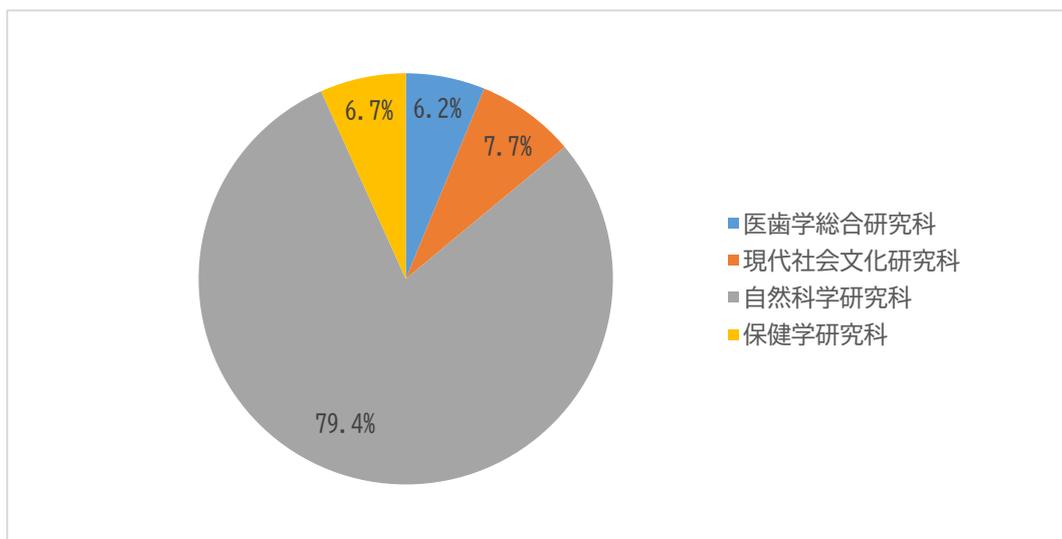
 Microsoft Forms

【博士前期（修士課程）学生対象】 大学院博士課程（新設）に関するアンケート

【博士前期課程・修士課程1年生】

(1) あなたの所属研究科を選択してください。

	回答人数（人）
医歯学総合研究科	12
現代社会文化研究科	15
自然科学研究科	154
保健学研究科	13

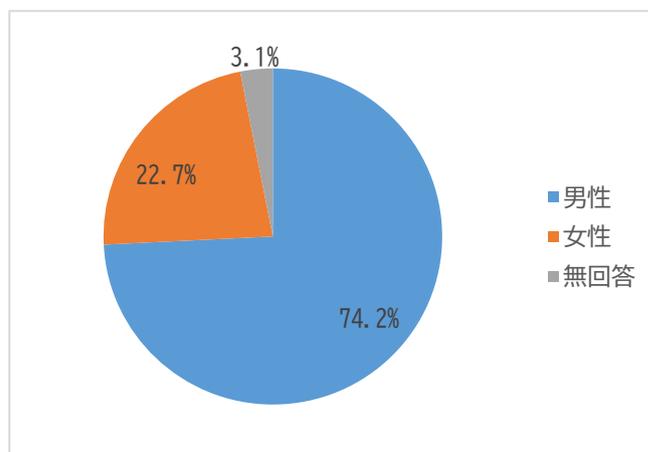


(2) あなたの所属している専攻を教えてください。

(省略)

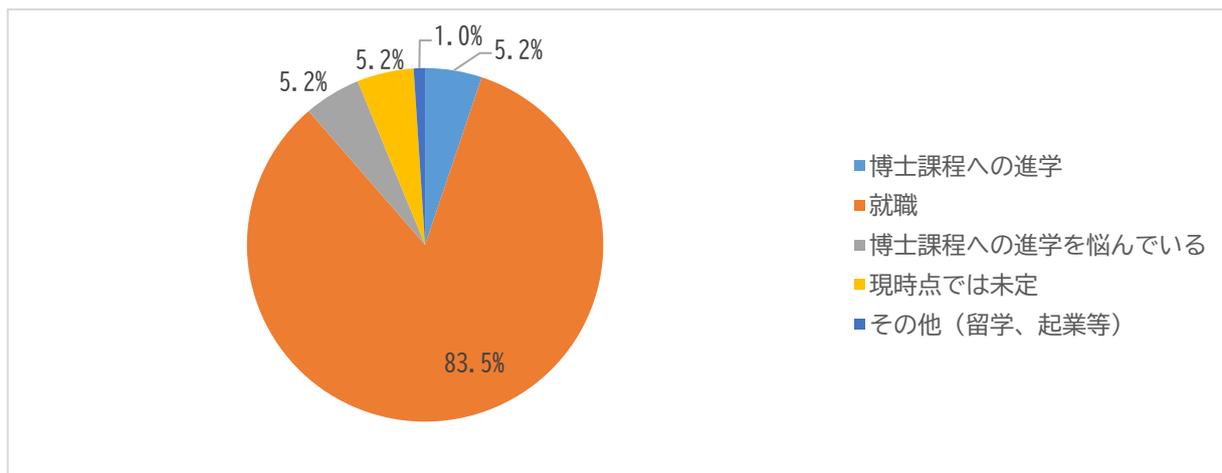
(3) あなたの性別を選択してください。

	回答人数（人）
男性	144
女性	44
無回答	6



(4) 修士課程（博士前期課程）修了後の進路を現時点でどのようにお考えですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数（人）
博士課程への進学	10
就職	162
博士課程への進学を悩んでいる	10
現時点では未定	10
その他（留学、起業等）	2

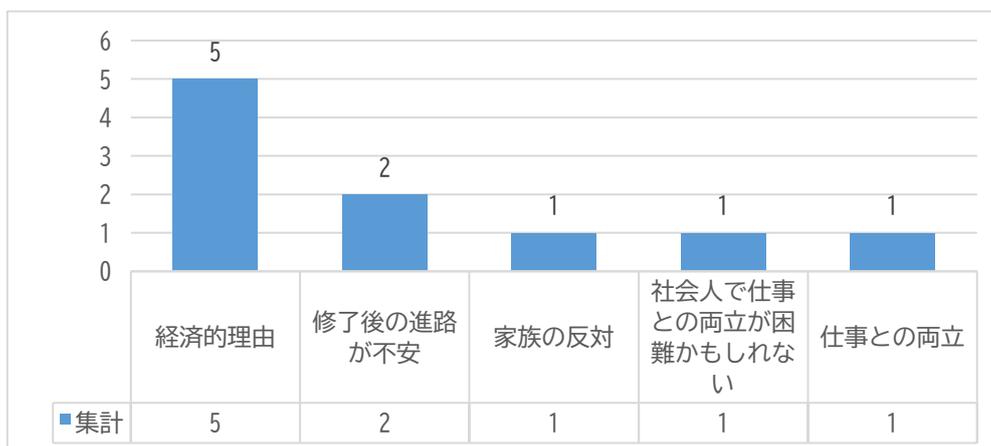


(5) 博士課程（4年）進学を悩んでいる理由を教えてください。

以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。

※(4)で「博士課程への進学を悩んでいる」と回答した(10人)のみが回答対象

	回答人数（人）
経済的理由	5
修了後の進路が不安	2
家族の反対	1
社会人で仕事との両立が困難かもしれない	1
仕事との両立	1



(6) 博士課程（4年）に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。

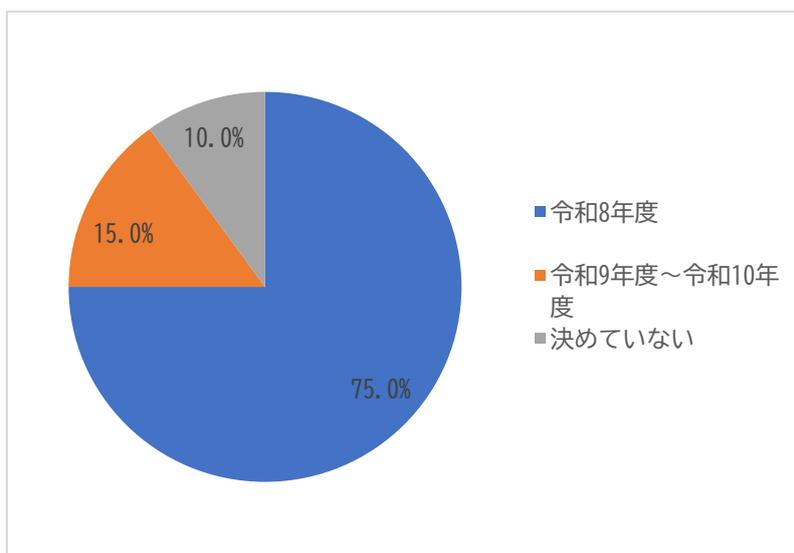
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。

※(4)で「博士課程への進学」または「博士課程への進学について悩んでいる」と回答した者（20人）が回答対象

	回答人数（人）
本学大学院	20

(7) いつ大学院に進学したいですか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数（人）
令和8年度	15
令和9年度～令和10年度	3
決めていない	2



(8) 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。

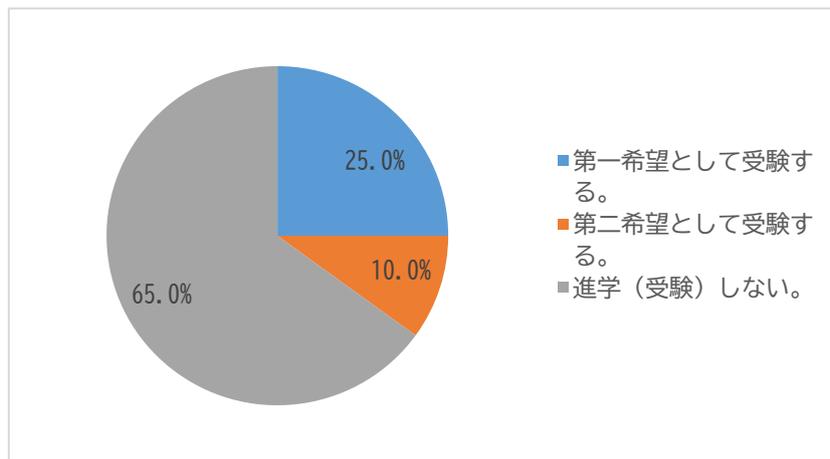
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数（人）
医学	7
保健学（その他）	4
薬学	4
歯学	2
土木工学	1
心理学	1
芸術学	1

(9) 新潟大学大学院医歯保健学研究科(博士課程)が設置された場合、進学(受験)を希望しますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(4)で「博士課程への進学」または「博士課程への進学について悩んでいる」と回答した者
(20人)が回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する	5
第二希望として受験する	2
進学(受験)しない	13

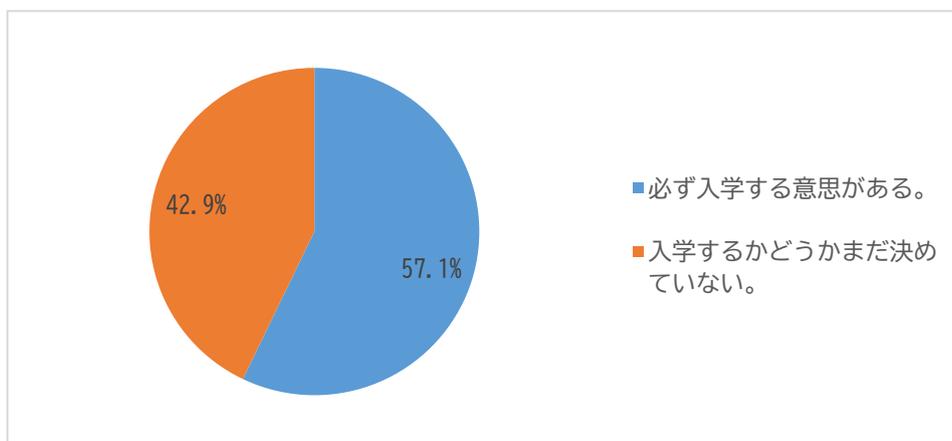


(10) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(8)で「進学(受験)しない」と回答した者は除く

	回答人数(人)
必ず入学する意思がある。	4
入学するかどうかまだ決めていない。	3
入学する意思はない。	0



(11) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

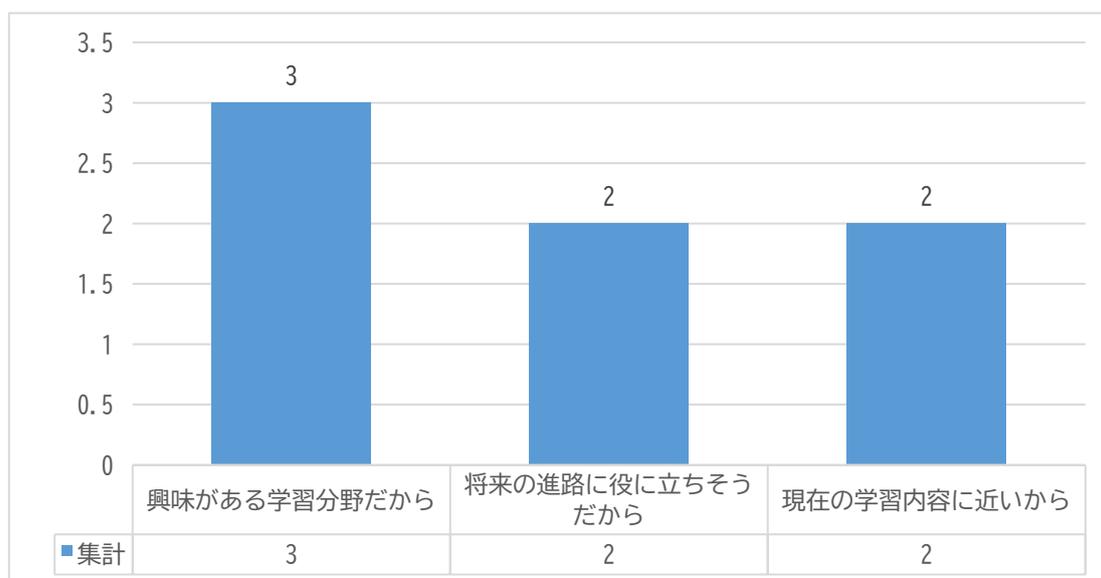
医学プログラムは3つあるコースのうち、1つのコースを選択してください。

※(9)で「進学（受験）しない」または(10)で「入学する意思はない」と回答した者は回答対象外
また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数（人）		目安人数（人）
	令和8年度	令和9年度～ 令和10年度	
医学プログラム・グローバル 医療研究コース(仮称)	1	1	(7~8)
医学プログラム・精密医学研 究コース(仮称)	1	0	(47~48)
医学プログラム・脳とこころ の医学研究コース(仮称)	2	1	(18~19)
歯学プログラム	1	0	28

(12) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数（人）
興味がある学習分野だから	3
現在の学習内容に近いから	2
将来の進路に役立ちそうだから	2



【社会人対象】大学院博士課程（新設）に関するアンケート（博士課程）

本アンケートは、博士課程への進学や関心について理解を深めることを目的としており、社会人を対象に実施しています。以下の設問にご協力いただきますようお願いいたします。

- ①本調査は匿名で実施するものです。このアンケートへの回答により、みなさまの成績評価や進学・進路に関する評価などに影響を与えることは絶対にありません。
 - ②ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されます。また結果は調査目的以外に利用することはありません。
 - ③お一人1回の回答を想定した調査です。別の機会で回答した方は、二重に回答しないようご注意ください。
- ※このアンケートに記載されている新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称・設置構想中）に関する事項は全て予定であり、内容が変更する可能性があります。

1. あなたの年齢を選択してください。*

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳以上

2. あなたの性別を教えてください。*

- 男性
- 女性
- 無回答

3. 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 短大
- 専門学校
- 高専
- 大学（学部）
- 大学院（修士課程）
- 大学院（博士課程）
- その他

4. 現在の職業等について教えてください。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 農業・林業
- 水産業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く）
- 分類不能の産業
- 自営業
- 専業主婦（主夫）
- 働いていない

5. 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- ぜひ入学したい
- 入学してみたいが悩んでいる
- 興味がない
- その他

6. 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。
以下の項目から該当するものを全て選択してください。（複数回答可）*

- 経済的理由
- 修了後の進路が不安
- 家族の反対
- その他

7. 博士課程に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。
以下の項目から該当するものを全て選択してください（複数回答可）。*

- 本学大学院
- 他の国立大学大学院
- 公立大学大学院
- 私立大学大学院
- 海外の大学院海外の大学院
- その他

8. いつ大学院に進学したいですか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 令和8年度
- 令和9年度～令和10年度
- 令和11年度～令和12年度
- 決めていない
- その他

9. 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 医学
- 歯学
- 薬学
- 保健学（その他）
- その他

10. 新潟大学大学院医歯保健学研究科（博士課程）が設置された場合、進学（受験）を希望しますか。
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 第一希望として受験する。
- 第二希望として受験する。
- 第三希望以降として受験する。
- 進学（受験）しない。

11. 合格した場合、入学する意思はありますか？
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。*

- 必ず入学する意思がある。
- 入学するかどうかまだ決めていない。
- 入学する意思はない。

12. 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。
医学プログラムは3つあるコースのうち、1つのコースを選択してください。*

- 医学プログラム・グローバル医療研究コース(仮称)
- 医学プログラム・精密医学研究コース(仮称)
- 医学プログラム・脳とこころの医学研究コース(仮称)
- 歯学プログラム

13. 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答) *

- 現在の学習内容に近いから
- 興味がある学習分野だから
- 将来の進路に役に立ちそうだから
- プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから
- その他

14. 新たに新潟大学大学院医歯保健学研究科（仮称）が開設された場合、そのような研究科に期待することや、疑問に思うことなどはありますか。
どのような内容でも構いませんので、何かあれば自由に記述してください。特になければ、無回答で構いません。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

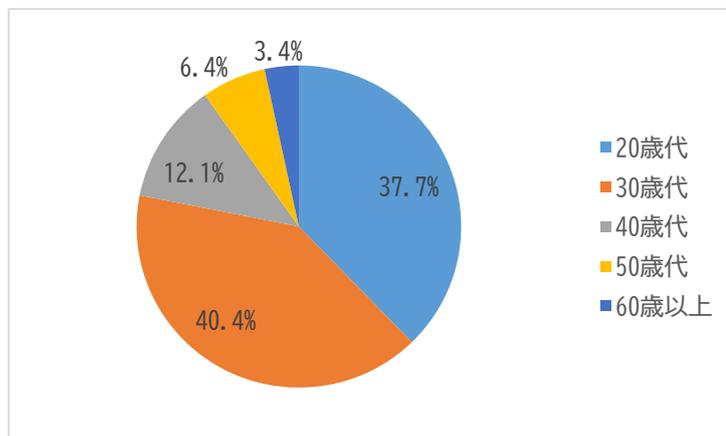
 Microsoft Forms

【社会人対象】大学院博士課程（新設）に関するアンケート

【社会人】

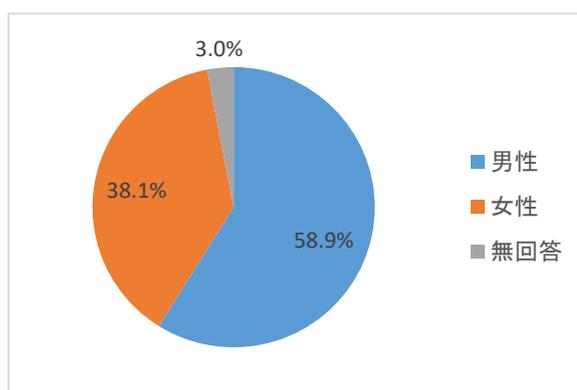
(1) あなたの年齢を選択してください。

	回答人数 (人)
20 歳代	100
30 歳代	107
40 歳代	32
50 歳代	17
60 歳以上	9



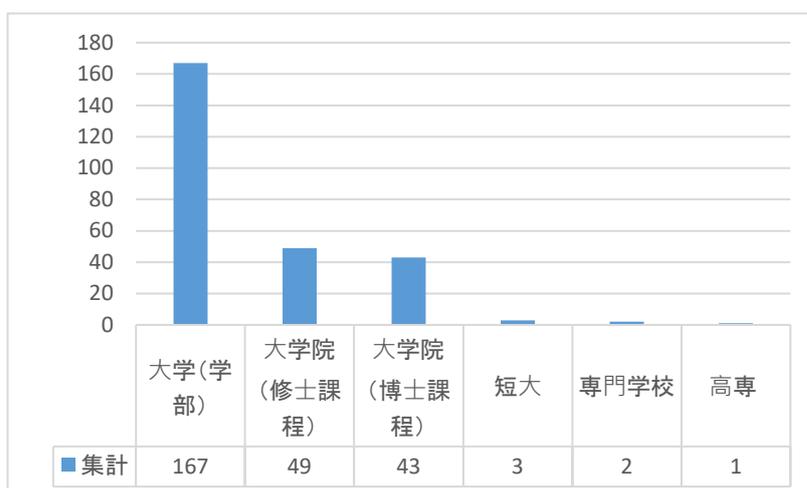
(2) あなたの性別を選択してください。

	回答人数 (人)
男性	156
女性	101
無回答	8



(3) 最終学歴を教えてください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

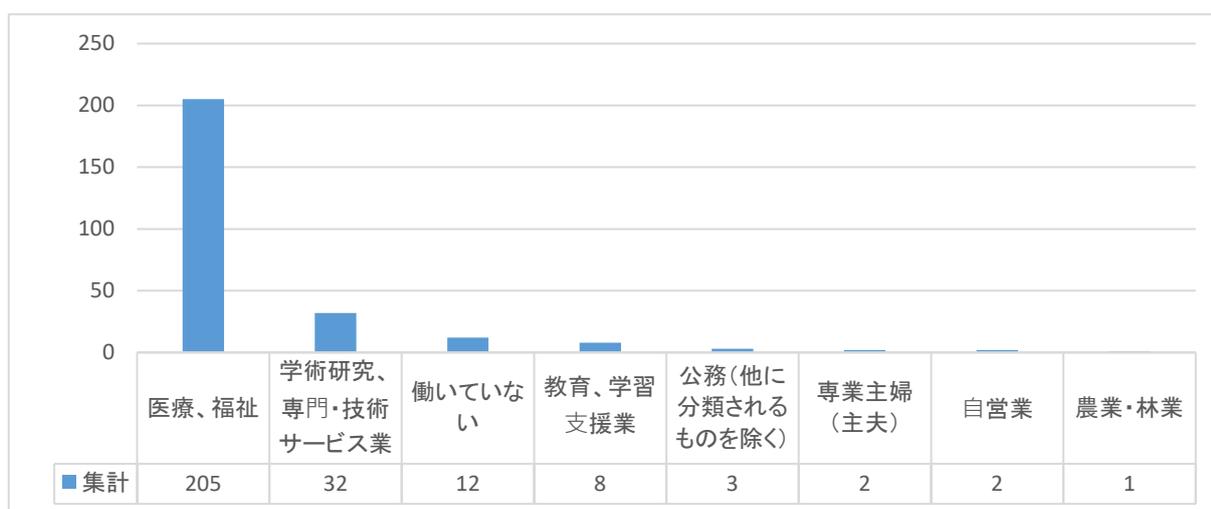
	回答人数
大学 (学部)	167
大学院 (修士課程)	49
大学院 (博士課程)	43
短大	3
専門学校	2
高専	1



(4) 現在の職業等について教えてください。

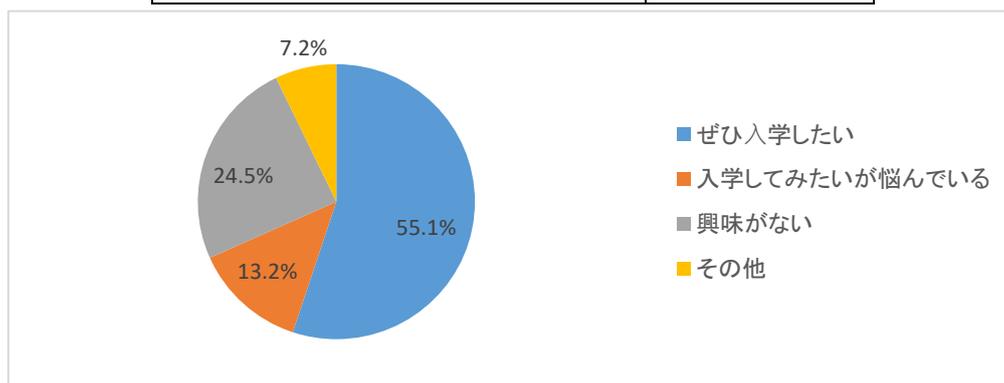
以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数(人)
医療、福祉	205
学術研究、専門・技術サービス業	32
働いていない	12
教育、学習支援業	8
公務(他に分類されるものを除く)	3
専業主婦(主夫)	2
自営業	2
農業・林業	1



(5) 御覧いただいた大学院へ入学したいとお考えになりますか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

	回答人数(人)
ぜひ入学したい	146
入学してみたいが悩んでいる	35
興味がない	65
その他	19

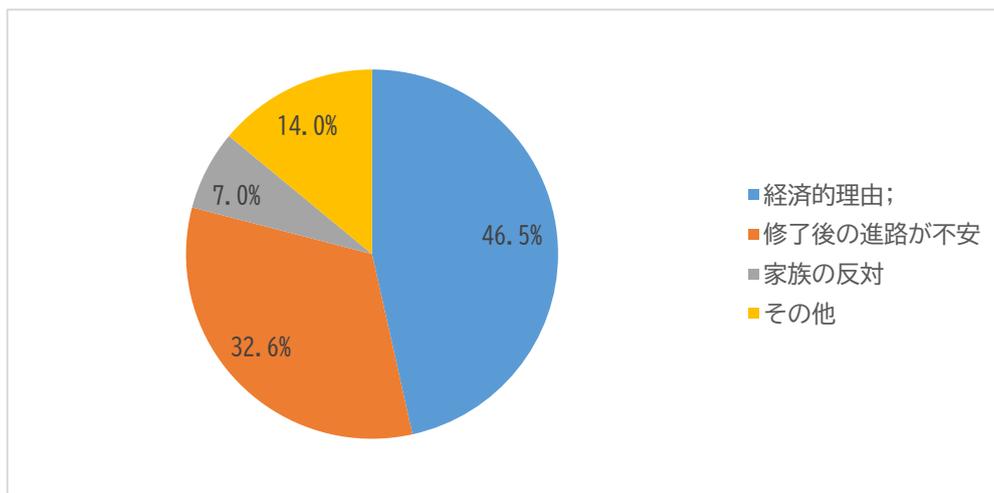


(6) 大学院進学を悩んでいる理由を教えてください。

以下の項目から該当するものを全て選択してください。(複数回答可)

※(5)で「入学してみたいが悩んでいる」と回答した(35人)のみが回答対象

	回答人数(人)
経済的理由	20
修了後の進路が不安	14
家族の反対	3
その他	6

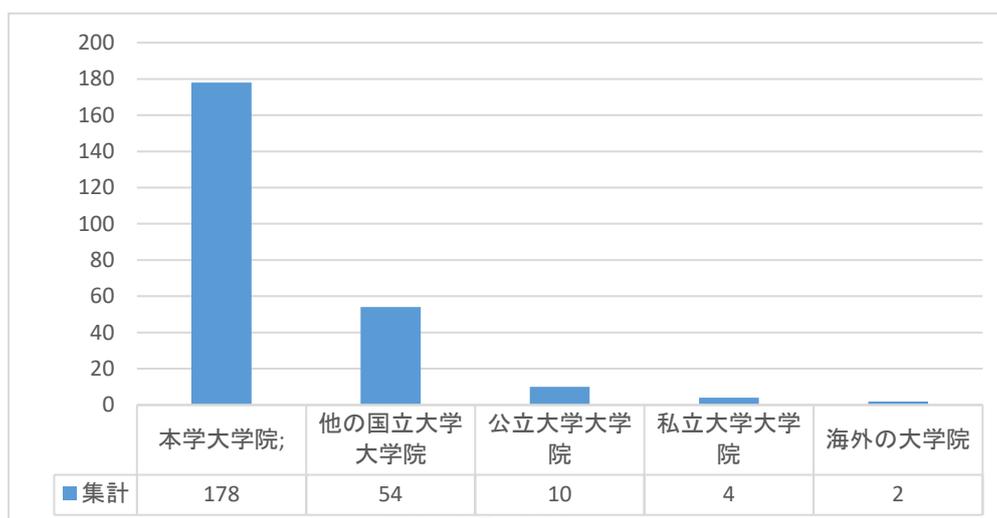


(7) 博士課程に進学する場合、以下のいずれの大学院に進みたいですか。

以下の項目から該当するものを全て選択してください(複数回答可)

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(181人)のみが回答対象

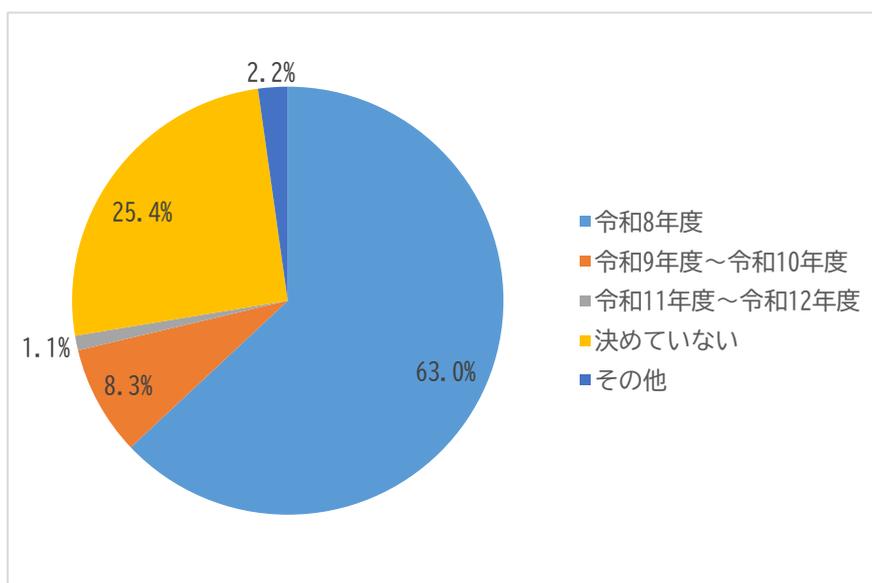
	回答人数(人)
本学大学院	178
他の国立大学大学院	54
公立大学大学院	10
私立大学大学院	4
海外の大学院	2



(8) いつ大学院に進学したいですか。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(181人)のみが回答対象

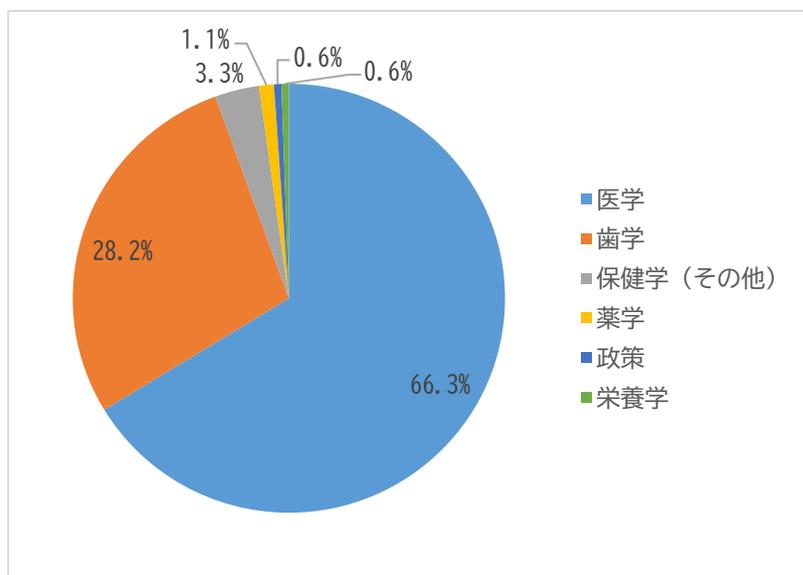
	回答人数(人)
令和8年度	114
令和9年度～令和10年度	15
令和11年度～令和12年度	2
決めていない	46
その他	4



(9) 現在の職業や修了した専攻等に関わらず、興味のある学問分野を以下から選択してください。以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(181人)のみが回答対象

	回答人数(人)
医学	120
歯学	51
保健学(その他)	6
薬学	2
政策	1
栄養学	1

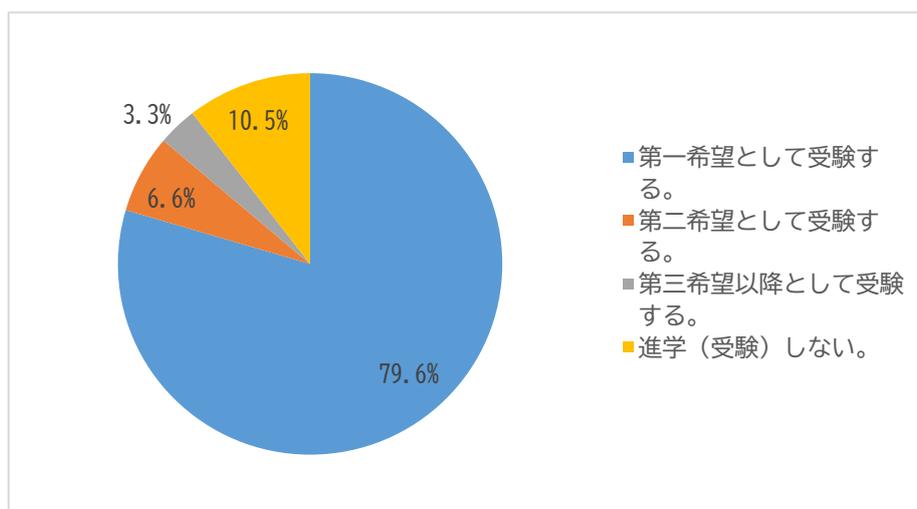


(10) 新潟大学大学院医歯保健学研究科が開設された場合、受験を希望しますか。

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(5)で「ぜひ入学したい」「入学してみたいが悩んでいる」と回答した者(181人)のみが回答対象

	回答人数(人)
第一希望として受験する。	144
第二希望として受験する。	12
第三希望以降として受験する。	6
進学(受験)しない。	19

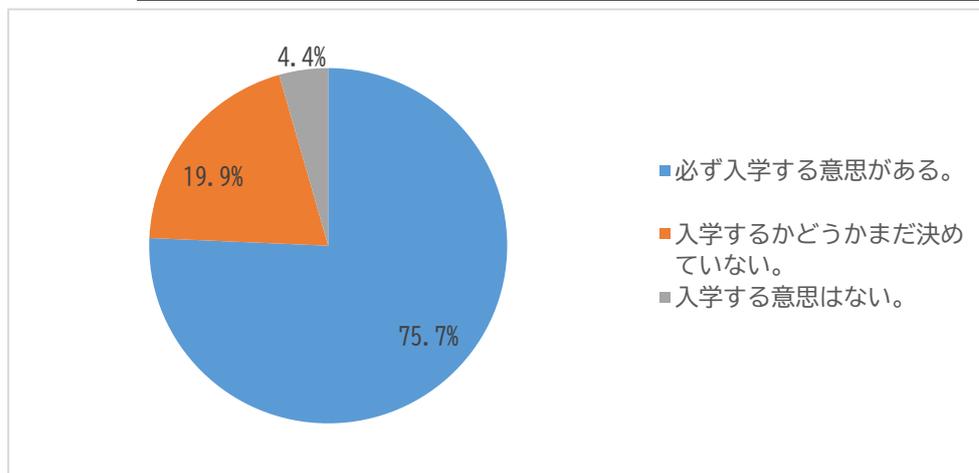


(11) 合格した場合、入学する意思はありますか？

以下の項目からあてはまるものをひとつ選択してください。

※(10)で「進学(受験)しない」と回答した者は回答対象外

	回答人数(人)
必ず入学する意思がある。	134
入学するかどうかまだ決めていない。	27
入学する意思はない。	1



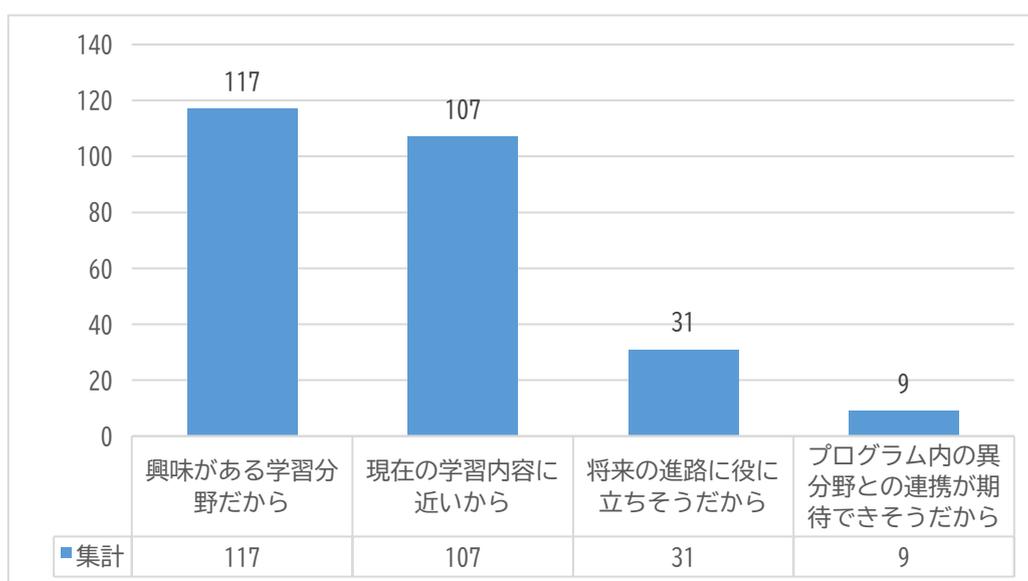
(12) 入学後に希望する学位プログラムを選択してください。

※(10)で「進学（受験）しない」または(11)で「入学する意思はない」と回答した者は回答対象外
また、進学を希望する年度等別に集計。

	回答人数（人）				目安人数
	令和8年度	令和9 ～10年度	令和11 ～12年度	未定他	
医学プログラム・グローバル医療研究コース(仮称)	22	5	0	17	(7～8)
医学プログラム・精密医学研究コース(仮称)	27	5	1	5	(47～48)
医学プログラム・脳とこころの医学研究コース(仮称)	27	1	1	5	(18～19)
歯学プログラム	33	1	0	11	28

(13) 一つ前の質問で当該プログラムを選んだ理由をお答えください。(複数回答)

	回答人数（人）
興味がある学習分野だから	117
現在の学習内容に近いから	107
将来の進路に役に立ちそうだから	31
プログラム内の異分野との連携が期待できそうだから	9



跳躍する研究力

未来社会を牽引する
研究者・教育者・
医療専門職を目指す

2026年4月開設予定
設置構想中

※掲載内容は予定であり変更となる
場合があります。

新潟大学大学院 医歯保健学研究科(仮称)

医歯学総合研究科

博士課程(4年制) 入学定員 101人
博士後期課程 入学定員 3人
博士前期課程 入学定員 6人
修士課程 入学定員 20人

保健学研究科

博士後期課程 入学定員 6人
博士前期課程 入学定員 20人

医歯保健学研究科

博士課程(4年制) 入学定員 101人
博士後期課程 入学定員 10人
博士前期課程 入学定員 40人

超高齢化の
健康課題

ゲノム医療

AIを搭載した
診断支援

遠隔医療
臨床推論

現在の医療課題に対応できる
教育・研究力の強化と人材育成

●組織移行前

医歯学総合研究科

博士課程

※数字は入学定員

地域疾病制御医学専攻	14
生体機能調節医学専攻	37
分子細胞医学専攻	22
口腔生命科学専攻	28

博士後期課程(3年課程)

口腔生命福祉学専攻	3
-----------	---

博士前期課程(2年課程)

口腔生命福祉学専攻	6
-----------	---

修士課程(2年課程)

医科学専攻	20
-------	----

保健学研究科

博士後期課程(3年課程)

保健学専攻	6
-------	---

博士前期課程(2年課程)

保健学専攻	20
-------	----

●組織移行後

医歯保健学研究科 (仮称)

博士課程

※数字は入学定員

医歯学専攻	医学プログラム	101
	・グローバル医療研究コース (仮称)	
	・精密医学研究コース (仮称)	
歯学プログラム		

博士後期課程(3年課程)

健康科学専攻	看護学プログラム	10
	次世代医療技術科学プログラム	
	口腔保健福祉学プログラム	

博士前期課程(2年課程)

健康科学専攻	看護学プログラム	40
	次世代医療技術科学プログラム	
	メディカルサイエンスプログラム	
	口腔保健福祉学プログラム	

